

# 令和5年度 事業計画・資金収支予算

社会福祉法人 ベタニヤホーム

## 目 次

### 【令和5年度事業計画】

1. 社会福祉法人ベタニヤホーム事業計画	・・・	1
2. 法人本部事業計画	・・・	4
3. 母子生活支援施設ベタニヤホーム事業計画	・・・	6
4. 菊川保育園事業計画	・・・	12
5. 富士見保育園事業計画	・・・	18
6. こひつじ保育園事業計画	・・・	23

### 【令和5年度資金収支予算】

1. 法人単位資金収支予算概要	・・・	31
2. 各拠点区分資金収支予算総括	・・・	33
3. 法人本部拠点区分資金収支予算	・・・	37
4. 母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算	・・・	41
5. 菊川保育園拠点区分資金収支予算	・・・	44
6. 富士見保育園拠点区分資金収支予算	・・・	48
7. こひつじ保育園拠点区分資金収支予算	・・・	53

## 令和5（2023）年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業計画

### I 法人の使命・基本理念 ～ベタニヤホーム憲章より～

創立以来一貫し維持されてきたベタニヤホームの基本理念は、キリストが示された隣人愛の精神に基づく信仰的实践である。

ベタニヤホームは今後もこの精神と社会福祉の理念に基づき、歴史と伝統に立って福祉サービスの充実向上のため次の使命を有することを明らかにする。

1. ベタニヤホームは、すべての事業をキリスト教の精神に基づいて行う。
2. ベタニヤホームは、関係法規に記された児童福祉の理念と利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った福祉サービスの充実向上に常に努力する。
3. ベタニヤホームは、福祉サービスに従事する職員の人間性、専門性に視点をおき資質向上に努める。
4. ベタニヤホームは、ひとり親家庭の自立や乳幼児保育の充実のため、社会情勢の変化に伴う課題に対応し利用者に対し必要な支援を行う。
5. ベタニヤホームは、地域との連携を図り、子育て支援事業等を通じ地域福祉の充実向上にも努める。

### II 令和5年度の基本方針

令和5年度は、いよいよ法人創立100周年を迎えます。本年9月には創立100周年を記念する中核的な企画を実施したいと考えていますが、令和5年度内に100周年記念事業の一環として、いくつかの企画を準備していく予定です。各拠点においては職員を挙げて記念事業の準備を進めてまいります。また、園庭などを除いて、令和5年中には富士見保育園の新園舎が完成する見通しです。計画どおり安全に事故なく工事がすすめられるよう万全を期すこととします。

このように、令和5年度は図らずも法人にとって大きな節目を迎える年度となりました。先達たちの意思を受け継ぎ、次の100年に向けて新たなベタニヤホームを築いていく責務が私たちにあることを自覚しつつ、これまでと変わることなくキリスト教精神と社会福祉の理念に基づく利用者本位の事業を実践していきます。また、常に地域に目を向け、様々な暮らしの課題を有する方々とつながり、必要な支援を重ねていくことで、私たちは社会福祉法人としての責務を果たしてまいります。

令和5年度の法人としてのおもな取り組みは以下のとおりです。

#### ●法人内の施設の連携・協働体制の構築

地域の公益的な取り組みの支援などにそれぞれの施設の機能やノウハウを活かせるよう、相互に様々な情報等の発信・共有、学び合いと協働をすすめてまいります。

#### ●人材の確保と育成

求職者たちの就職活動のあり方も大きく様変わりしてきている。法人全体で公平かつ適正な職員採用が行えるよう、調査研究を行い合理的な採用方法を構築するとともに、法人の人材育成方

針及び研修体系を策定し、年間研修計画に基づく育成を図れるようすすめます。

●利用者や職員等の権利擁護

子どもたちや利用者の方々が施設や事業を安心して利用できる一方、支援する職員も安心して働き続けることができる環境づくりをすすめ、利用者や役職員等の権利と尊厳を守ります。

●法人・施設の運営方針及び目標に基づく事業の遂行と予算執行

P D C Aに基づいた事業の計画・遂行を徹底し、財政面においても、これまでの実績を踏まえた適正な予算編成と計画的な執行に努め、特に、創立 100 周年記念事業及び富士見保育園建替え事業に係る予算については、遺漏のないよう留意してすすめます。

令和 5 年度も感染の防止に留意しながら、新型コロナウイルス感染症の位置づけの見直しなどによる利用者や職員への影響、折からの物価上昇による事業運営や人件費予算へ与える影響などを睨みながらの法人運営になるものと考えます。

### Ⅲ 令和 5 年度の重点事項と具体的な実践計画

#### 1. 理念の継承

令和 5 年度に迎える法人創立100周年を機に、創設者、先達者たちの想いをしっかりと覚えて受け継いでいくとともに、キリスト教精神と社会福祉の理念に基づくベタニヤホームの支援と保育のさらなる実践に向けて、激しく変容する社会情勢の中においても、これから私たちが取り組むべき課題や施設のあり方について考え、次の100年に繋いでいきます。

また、当法人設立の母体である日本福音ルーテル教会とはこれまで同様、御言葉と祈りを大切に、教会、担当牧師（チャプレン）とのかかわりを深めていけるよう心がけていきます。

#### 2. 人材育成と働き方改革への対応

新型コロナウイルスの感染拡大により、令和 4 年度も研修の場を十分に持つことができませんでした。令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら暫定的な計画を立てて研修を行ってまいります。特に、組織のマネジメント力の強化に注力しつつ、令和 6 年度からは年間研修計画に基づいた研修を行えるよう、法人として求める職員像や人材育成方針を定め、研修体系を構築します。

引き続き、賃金規程等検討委員会において、職員の採用方法、処遇や賃金体系等の見直しをすすめ、同一労働同一賃金の考え方にに基づく労働環境の整備を図ります。

#### 3. 拠点組織の強化とデジタル化の推進

I C T化をすすめ、利用者へのサービス・利便性及び業務の効率化の向上を図ります。特に、拠点間における情報の共有をすすめながら決裁や契約事務の電子化を図り、様々な分野の事務のデジタル化を推進します。

令和 4 年度から電子帳簿保存法の施行に伴い、各施設における対応複合機の導入を支援していますが、令和 5 年度も継続して行っていくとともに、グループウェアや電子決裁・契約システムの導入準備をすすめてまいります。

5 年目となる例規整備は、経営委員会や賃金規程等検討委員会の検討を受けて、特に労務や人事・給与関係の規程を中心に見直し・整備をすすめます。

#### 4. 社会福祉法人としてのあり方と展望の明確化に向けて

わが国では少子・高齢化と人口減少問題をはじめ、虐待や孤立化、雇用や貧困問題など歪と格差のある社会は一層すすんでいく様相を呈しており、加えて、紛争や感染症の広がりによる社会経済情勢の大きな変容が世界中に訪れています。こうした環境下において、折しも100年目の節目を迎える私たちベタニヤホームは、母子生活支援施設と保育園を運営する社会福祉法人として多様化・深刻化がすすむ地域の福祉課題の改善・解決に向けて、社会福祉法人としてのあり方や取り組みについて、改めて見つめ直す時期に来ていると考えます。

私たちはこれから少し先を見据えたビジョンづくりを、建替えを経て新たな地域の子育て支援機能をもって動き出す富士見保育園や、地域への食支援活動や職員体制の改編によって新たな施設運営をめざす母子生活支援施設などの具体的な実践とともに始めていきます。

#### 5. 「祈りの場」の提供

牧師職にある理事、評議員を中心に今年度も礼拝、イベント、研鑽等を行います。特に、今年度は、創立100周年目の記念すべき礼拝が執り行われることとなります。日本福音ルーテル教会とベタニヤホームのつながりやこれからのあり方などについても理解、共有できる大切な機会となることと考えます。

とりわけ、ベタニヤホームには聖パウロ教会がすぐそばに、常にあり続けてくださっています。私たちはこの記念すべき時に聖パウロ教会とのかかわりをより一層深めるとともに、次代に向けて共に歩み続けるための新たな足掛かりを据える年としてまいります。

一方、年4回の礼拝をこれまで3年近くリモートで実施してきましたが、令和5年9月16日に予定している法人創立100周年記念礼拝以降は、参集しての礼拝や講演会・研修会などの企画を再開できるよう検討してまいります。

最後になりますが、日頃から法人の祈りの拠り所となっている聖パウロ教会や諸教会の牧師の協力を得ながら、礼拝や聖書研究等の時間が心身の疲れを癒す「聖なる時間」となるよう、引き続き各施設の環境づくりにも努めてまいります。

令和5年度の礼拝・予定行事等	
4月1日	辞令交付式・新任職員レクチャー
4月	イースター礼拝
9月16日	創立100周年記念礼拝・記念講演会等
12月	クリスマス礼拝
3月	東京大空襲犠牲者追悼礼拝

令和5年3月

社会福祉法人ベタニヤホーム  
理事長 綱 春 子

# 令和5（2023）年度 法人本部事業計画

## I 法人本部の使命・運営理念

キリスト教精神と社会福祉の理念に立ち、ベタニヤホーム憲章の5つの使命を果たすべく、社会福祉法等法令に基づく社会福祉法人の本部事務局として、常に適正な運営を目指します。

また、地域が抱える福祉課題等の改善・解決に資するため、社会福祉法人ならではの公益的な取り組みが果たせるよう努めます。

## II 令和5年度の法人本部運営方針

令和5年度は、法人本部の体制強化5年目にあたります。また、法人創立100周年記念事業の実施や富士見保育園の新園舎竣工と大きな節目を迎え、次の新たな事業・組織運営のビジョンづくりに向けた準備の1年にしていきたいと考えます。

そこで、令和5年度は、前年度までに積み残しとなった法人例規の見直し・整備の継続実施、未着手のままである防災計画やBCPの策定などの災害対策、そして、令和6年度から人材育成方針と研修体系に基づく年間研修計画を立案・実施できるよう検討・準備をすすめます。

また、運用を開始した新たな人事評価制度の検証、見直しをすすめるとともに、今後の社会・経済情勢を見据えた公正な人事・給与制度づくりについても検討してまいります。

その他、IT・デジタル化をすすめ、法人全体で利用者サービス及び事務効率の向上に資するよう電子決裁・契約システムやグループウェアの導入に向けた準備を行うほか、油断できない新型コロナウイルス感染症対策の継続、職員の心身の健康管理や地域へのかかわりについても引き続き取り組んでまいります。

## III 令和5年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

### 1 法人運営へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 経営組織の体制再構築と法令を順守した安定的な運営	(1) ①理事会・評議員会・経営委員会・人事評価委員会・施設連絡協議会の確実な運営 ②中間監査の実施
(2) 法人例規の見直し・整備	(2) ①労務及び給与等の関連例規の整備 ②その他既存例規の見直し・体系化
(3) 法人創立100周年記念事業の実施	(3) ①創立100周年記念会ほか企画の実施 ②創立100周年デジタル記念誌の発行
(4) 富士見保育園建替え工事の遂行	(4) 富士見保育園建替え工事の継続実施
(5) 事業拡充と財源確保に関する検討	(5) 社会福祉充実計画の見直し・策定 ①社会福祉充実残額の使途の検討 ②令和6年度社会福祉充実計画の策定

### 2 職員へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 適正な人事及び労務事務の遂行	(1) ①新たな人事評価制度の運用と検証・見直し ②賃金規程等検討委員会及び人事評価委員会の運営 ③各種人事・労務事務の適正な遂行
(2) 働き方改革による労働環境の整備	(2) ①有期雇用職員処遇の見直し ②労働環境整備に関する検討と例規の整備
(3) 心の健康維持などへの支援	(3) ①ハラスメントのない環境づくりと啓発活動 ②職員のメンタルヘルスを守る環境づくりの推進

### 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 法人の取り組みの周知 (2) 理解者・支援者への呼びかけ (3) 地域公益活動への参画、支援	(1) ①ベタニヤホームだよりの発行 ②法人創立 100 周年の周知 (2) 創立 100 周年記念媒体を活用した各種広報 (3) ①各施設が実施する地域公益活動への支援 ②法人としての取り組み・位置づけ・財源の検討 ③墨田区社会法人連絡会への参画と協働の検討

## IV 令和5年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 人材育成方針・研修体系の策定 (2) 組織マネジメントの強化 (3) 人材確保対策の強化 (4) 礼拝の場の提供	(1) ①法人が求める職員像の検討 ②人材育成方針及び研修体系の策定 ③令和6年度年間研修計画の作成 (2) 幹部職員を対象としたマネジメント研修の実施 (3) ①採用募集方法の再検討 ②法人事業案内ガイドの作成・配布準備 (4) 年4回の法人全体による礼拝の実施

### 2 施設整備

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 拠点間及びテレワーク環境に必要な情報インフラ整備の検討 (2) 富士見保育園の建替え工事支援 (3) 災害対策・施設設備整備支援	(1) ①サイボウズ等のグループウェアの導入準備 ②電子決裁・契約システムの導入準備 ③office365の導入準備 (2) 江戸川区及び関係業者等との連絡調整 (3) 施設が必要とする備品・備蓄品その他助成申請支援

### 3 危機管理

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 災害対策 (2) 法人本部災害対策	(1) ①総合的な防災計画策定に向けた検討 ②水害及び感染症対策を優先としたBCPの作成 (2) ①法人本部携帯電話の整備・運用 ②災害備品及び備蓄品の日常管理・更新

## V 令和5年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

特筆すべき事業等	増減予算額（前年度予算額）
(1) 創立 100 周年記念事業実施に伴う林基金取崩し収入の増	(1) 積立金取崩し収入： 6,500,000 円 (0 円)
(2) // 拠点区分間繰入金の増	(2) 拠点区分間繰入金収入： 23,400,000 円 (21,400,000 円)
(3) // 各企画実施経費の増	(3) 各企画経費合計支出： 1,500,000 円 (0 円)
(4) // デジタル記念誌制作費の増	(4) 業務委託費支出： 7,500,000 円 (0 円)
(5) 組織マネジメント研修費用の増	(5) 研修研究費支出： 80,000 円 (0 円)
(6) 高ストレス者面談経費の増	(6) 福利厚生費支出： 70,000 円 (0 円)
(7) 人件費（俸給・賞与・法定福利）の増	(7) 人件費支出（合計）： 19,452,000 円 (17,663,000 円)

## 令和5（2023）年度 母子生活支援施設ベタニヤホーム事業計画

### I 施設の使命・運営理念

母子生活支援施設ベタニヤホームは、キリスト教精神に則り、私たちの隣人それぞれが、生きる力を得られるように支え続ける施設を目指します。

- (1) わたしたちは、施設に関わる全ての人の生と性を尊重した安心・安全な環境を提供し、その人の自己実現に向けた支援を続けます。
- (2) わたしたちは、子育て世帯との対話を通してその思いに応えられるよう、社会情勢に応じた専門性を身につけ、福祉サービスの充実向上に常に努力します。
- (3) わたしたちは、様々な家族のライフステージに合わせた切れ目のない支援によって、地域に暮らす親子の子育て・子育てを支え、開かれた施設として地域や団体と協働します。  
（「母子生活支援施設ベタニヤホームが大切にすること」（目標・理念・行動価値基準）より抜粋）

### II 令和5年度の施設運営方針

令和4年度のコロナ禍は令和3年度にも増して施設運営に大きな影響を及ぼした。施設内クラスター感染は発生しなかったものの、第7波、第8波の影響を受け続けた。この影響下、施設としての対応を東京都の指標（「感染状況」と「医療提供体制」）のモニタリング4段階評価）を基に、毎月2回のリーダー会議ですべての事業について実施の可否、実施上の工夫について検討を行ってきた。また職員への感染が進む中、ひとり暮らしの職員の感染時対応策を策定し、事業継続のために福祉施設が最大限守るべき職員の感染対策についても対応してきた。

しかしながら、居宅支援を軸とする生活支援の現場では、職員ひとり一人の精神的負担は非常に高く、令和4年度事業における職員の奮闘への称賛と感謝、令和5年度事業における利用者へ寄り添う動機の保持を期待することと併せて、異例ではあるが冒頭に記するものである。

令和5年度の当施設は、社会的養育ビジョンが指し示す「家庭養護の原則」を踏まえ、大幅な体制変更と公益的取組みによって、社会的養育の施設の「高機能化」・「多機能化」に向かう準備を図りたい。そのため、昨年度の新型コロナ感染症対応により策定が進まなかった社会的養育中長期計画を完成させる。と同時に地域に根差した支援が展開できるよう、従来の施設内支援（インケア）を想定した支援対象（母親、学童、未就学児）ごとの職域設定を変更し、ケアワーカーとソーシャルワーカー、およびセラピストの3領域を設定し、3年間掛けて徹底したチームケア組織への移行を図るものとする。これは近い将来、ソーシャルワーカーが活躍すべき領域が保育の現場にも進むであろう状況への対応や、里親支援、産前産後支援を地域内で展開する際に当施設のインケアを地域に提供するための布石である。そのために、職員には派遣の研修のみならず施設内での学習会を開催し、職員ひとり一人の支援スキルを高めることを維持していく。

次に、地域に根差した公益的取組みである食支援では、既に区内における一定の認知を得ており、食支援に関わる区内のネットワーク形成、行政との連携、いずれも想定以上の実績を上げ、政策立案にも関与してきた令和4年度であった。また、様々な支援団体との連携により、食品配



布だけでなく衣類、玩具、コスメティック、母親向けのマッサージなども提供できる母子家庭の母親の「居場所」として定着している感がある。令和5年度は「アウトリーチパントリー3.X」として3期目の事業を行う。3期目の事業はコロナ禍の出口戦略として、「アウトリーチパントリーカフェ」として食品を取りに来た地域在住の母子家庭（退所者含む）や単身女性が、お茶や軽食を取りながら、ほっと一息をつき、職員に相談しやすい環境を提供する計画である。社会経済的には世界的なインフレーションによる物価上昇に影響を受け、パントリーで食品を提供されるだけでは家計が成り立たなくなる可能性もある。地域に暮らす母子家庭や単身女性の相談を積極的に受け、それを次の支援機関や行政機関につなぎ、当施設への入所を促進させる体制を確立させたい。

最後に施設創立100周年についてである。法人の100周年は当施設の100周年である。この機会を活用し、DVシェルター機能は維持しながらも積極的にPRを図り、企業や個人の金品に関わらない寄附を集め食支援につなげる。そのためにホームページの刷新、「ベタニヤホーム通信」の1年1回発行を通じて、寄附者や協力者への謝意を表すとともに、当施設を知らない多くの人々への関心の喚起を行う。また、施設創立100周年は関東大震災から100年である。改めて地震災害、水害への対応を強化し、施設の出自を職員が意識したプライドを持つ機会を設定していくものとする。施設100周年の様々な記念事業を「プライド100」と命名し令和5年度を意義ある100周年に、職員全員でしていくものとする。

### Ⅲ 令和5年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 学童支援 1. 育ちへの支援 2. 学びへの支援 3. 親子関係への支援 4. 個別対応支援 5. アフターケア	(1) 子どもの自立支援計画策定面接を実施し、親子関係の調整も含めた、子ども一人ひとりの課題に沿った支援を計画的に実施する。また、年間を通して外部との交流を深め、ICTリテラシーの向上やプランター栽培を通じた食育活動により、子どもの自主性を育むとともに、権利行使の主体として尊重される機会をつくる。退所児童にはアフターケアの支援計画を策定し支援を行う。
(2) 乳幼児支援 1. 施設内保育、補助保育、病後児保育 2. 他機関との連携による総合的なアセスメント	(2) 乳幼児の支援として、母親との保育面接や保育所との情報共有を行う。また親子行事や遠足等の保育行事を開催し、親子関係をアセスメントし養育支援に繋げる。就労、母親のレスパイトに対応した施設内保育を行う。
(3) 心理的支援 1. 生活場面インテーク	(3) 心理職が生活場面に積極的に関わることによるアセスメントを実施する。アセスメント結果を福祉職員と共有し、チームとしての支援の在り方についてコンサルテーションを行う。また、各種心理・発達検査を母親との相談の中で同意を得たうえで、子ど

<ol style="list-style-type: none"> <li>2. アセスメント</li> <li>3. プレイセラピー</li> <li>4. 心理検査</li> <li>5. コンサルテーション</li> </ol>	<p>もに実施し、結果開示の適切な方法を検討したうえで母親に開示し、各種支援につなげる。</p>
--	--

## 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
<p>(1) 母親支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所時インテーク</li> <li>2. 養育への支援</li> <li>3. 就労への支援</li> <li>4. 法的支援</li> <li>5. 退所前、退所時の支援</li> <li>6. 関係機関との協働</li> </ol> <p>(2) 心理的支援</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活場面インテーク</li> <li>2. アセスメント</li> <li>3. 面接</li> <li>4. 心理教育</li> <li>5. コンサルテーション</li> <li>6. スーパービジョン</li> </ol> <p>(3) アフターケア</p>	<p>(1) 入所時インテーク面接を実施することにより、入所後、個々に合った適切な支援を展開できるよう、的確なアセスメントを心掛け、関係機関との積極的な連携を図り、支援の開始と終結を意識し、入所から退所までの段階的な支援を展開する。母親の養育力が高まる支援ができるように職員がペアレントトレーニングを行うための研修を行い、具体的な養育知識を伝えられるようにする。就労についてはハローワークとの連携強化、施設内に求人コーナー設置等、就労情報に触れる機会の拡大を行う。法的課題にあっては、法テラスと連携し、オンライン相談及びホットライン相談を活用し、法的課題の解決が円滑に進むようにする。</p> <p>(2) 心理職が生活場面に積極的に関わることによることと、入所時面談にてアセスメントを実施する。アセスメント結果を福祉職員と共有し、チームとしての支援の在り方についてコンサルテーションを行う。心理ケアが必要な母親には環境の整った心理相談室での個別面接を行う。また、心理検査を本人同意の下、実施することで就労支援への活用や円滑なコミュニケーションを促していく。児童精神科医による施設内スーパービジョンを実施し、支援について検討機会を設ける。</p> <p>(3) 自立支援担当職員を配置し、アフターケアを計画的に実施する。退所後も切れ目のない支援を実施する。特にアウトリーチ・パントリープロジェクト 3.X を展開する中で、訪問型（アウトリーチ型）アフターケアの充実を更に進めていく。</p>

## 3 公益活動

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
------------	--------------

<p>(1) 江東橋 5 丁目町会等地域への参画</p> <p>(2) 地域交流ホールの利用</p> <p>(3) 里親支援</p> <p>(4) 地域の母子家庭、社会的養護施設出身者への支援</p> <p>(5) 各種助成金情報の収集と申請</p>	<p>(1) 江東橋 5 丁目町会役員会への参加、同町会主催の各種行事に、全職員が分担しながら参加し、地域の施設として認知を高めてもらう。</p> <p>(2) 墨田区における公的活動を展開する各種団体の研修会や、町会団体の活動に寄与する形での利用体制を整えていく。なお新型コロナウイルス感染症による感染拡大の状況下にあっては利用を限定的にする。</p> <p>(3) 墨田区、江東児童相談所、墨田区担当のフォスタリング機関と連携し、里親相談会等の開催を通して里親制度の理解、地域の里親の拡大に参画していく。 フォスタリング機関の設置等、社会的養護における里親支援の新規事業を検討する。</p> <p>(4) NPO や企業 CSR、及び墨田区内の子ども食堂、食支援活動拠点との協働によるパントリー（食品配布）を退所者のみならず、地域の母子家庭、社会的養護施設の出身者等を対象として実施する。また、食の支援に関する地域のネットワーク拡大と強化を図るために、全国の食支援団体との連携を強化し、全国各地の先行事例の導入を検討する。</p> <p>(5) 食支援の持続を図るために各種助成金への申請を行う。</p>
---	--

#### IV 令和 5 年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

##### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
<p>(1) 施設創立 100 周年を迎えるにあたり、施設の出自、及び出自を共にする他施設、他法人について知る機会を確保する。</p> <p>(2) 母子生活支援施設に求められる支援サービスが展開できる支援スキルの獲得</p> <p>(3) 他領域の事業に関心を持ち、アプローチ、コミュニケーションできる人財の育成</p> <p>(4) 社会の動向に関心を持ち、地域社</p>	<p>(1) 社会福祉法人慈愛園等への職員の派遣</p> <p>(2) 外部機関主催の各種研修に参加する。施設内では「専門研修（医療、心理、法律）」を実施する。また希望者による施設内学習会を開催する（「ケースワーク理論学習会」、「事例学習会」、「社会課題学習会」）。</p> <p>(3) 実地研修として、社会的養護、女性支援を担う他領域施設、及び先進的な取り組みを行う施設</p>

<p>会と共に地域づくりができる人材の育成</p> <p>(5) 支援職としてのキャリアを自らのライフスタイルに位置付け、キャリア形成を図る（キャリア・アンカー）</p> <p>(6) 資格取得の推奨と助成</p>	<p>で研修を行う。</p> <p>(4) NPO や個人が展開する居場所事業や子ども食堂、パントリーの実際を体験し、地域を包括化する支援の先行例を学ぶ。</p> <p>(5) キャリア・アンカーについての施設内研修を継続する。</p> <p>(6) 社会福祉士等資格の取得を推奨する。上級救命講習資格については全職員が取得する。資格取得については施設として費用の助成を行う。</p>
---	--

## 2 環境整備

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 修繕等建物維持にかかる計画の立案	(1) 施設内の小規模な修繕は施工業者に相談しながら職員が行う。また、中長期の修繕及びメンテナンスについては修繕計画を基に諸経費等の積立を行う。
(2) 感染症予防を含む衛生管理	(2) 消毒、換気、手洗いの徹底。また、施設内の衛生環境維持を図る。
(3) 施設内清掃等	(3) 障害者就労による業務委託を行う。各種機器の導入による清掃時間の効率化を図るとともに、環境整備委員会による計画的な施設環境の整備・清掃を実施する。また、利用者の主体性の涵養、生活力の向上という面から、利用者による清掃活動を進める。

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 施設 BCP の策定	(1) 昨年度策定した、地震災害・水害・感染症拡大に対応した施設事業継続計画案を状況に合わせて随時更新し、見直しを継続する。
(2) 感染症等への対応	(2) 嘱託医に相談しながら、施設内衛生環境維持を進める。
(3) 江東5区母子生活支援施設防災連絡協議会への参画	(3) 江東5区における各種災害リスクを検討し、母子生活支援施設の事業継続について知識を深め、対策を講じる。
(4) 水害対策	(4) 台風対策タイムラインの計画的な運用を行う。水害ハザードマップを前提に、施設内備蓄は垂直避難を想定し、水害時の負傷者搬送を踏まえ、移送手段の検討と装備を行う。
(5) 地震対策	(5) マンホールトイレの設置訓練を初めとして、巨

<p>(6) 火災防止</p> <p>(7) 防災教育への取り組み</p>	<p>大地震の発生を想定した各種訓練を実施する。食支援との連動によるローリングストックを備蓄の基本として計画的に実施する。アフターケアにおいても転倒対策を職員が訪問して実施する。</p> <p>(6) 月次の避難訓練にて利用者への防災に係る知識の付与や水消火器を使用した消火訓練を行う。</p> <p>(7) 自ら考え、自発的な行動ができるように、職員・利用者に資機材の扱い方や災害を想定した訓練を実施する。</p>
---------------------------------------	--

## V 令和 5 年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

特筆すべき事業等	増減予算額（前年度予算額）
<p>(1) 職員の資質向上</p> <p>① 社会的養護を担う施設職員としての専門能力向上</p> <p>② 資格取得助成</p> <p>(2) 公益的取組みの推進</p> <p>(3) 公益的取組み、施設 100 周年の施設広報の取り組み</p> <p>(4) 感染症予防を含む衛生管理</p> <p>(5) インフレによる物価上昇対応</p>	<p>(1) 研修研究費支出：1,870,000 円（320,000 円）</p> <p>(2) 事務消耗品費支出（アウトリーチパントリー）：50,000 円（0 円）</p> <p>(3) 広報費：260,000 円（40,000 円）△</p> <p>(4) 保健衛生費：650,000 円（400,000 円）△</p> <p>(5) 水道高熱費：3,900,000 円（900,000 円）△</p>

## 令和5（2023）年度 菊川保育園事業計画

### I 施設の使命・運営理念

キリストが示された「隣人愛」の精神に基づく信仰的实践として乳幼児保育、子育て支援事業を行います。

ベタニヤホーム憲章にある基本理念を基盤とし、「保育所保育指針」及び「キリスト教保育指針」に沿って、神様の愛と恵みに感謝し「自分は愛されている存在である」という思いを育み、各年齢の発達を大切に子どもの人権や主体性を尊重し一人ひとりの子どもの発達を助けると同時に地域の子育て支援をすすめてまいります。

また、この使命・理念を実践すべく職員の研鑽の積み重ねを遂行していきます。

### II 令和5年度の施設運営方針

1. “一人ひとりの子どもの状況や家庭及び地域社会での生活の実態を把握するとともに、子どもが安心感と信頼感をもって活動できるよう、子ども主体の思いや願いを受け止めること”を実践していきます。

令和5年度も基本的な方針は変えることなく進めていきますが、これまでの保育を常に検証し見つめ直しながら引き続き保護者と共に子どもたち一人ひとりの発達過程に応じた保育を子どもの個人差に十分配慮しながら行っていきます。

2. 職員育成については、「パートナー制度」を継続し、改善点を踏まえ実施していきます。
3. 使用電力量の軽減だけでなく給食の残食をなくす努力をするなど未来の地球環境を考えながらSDGs（持続可能な開発目標）を意識し、子どもとともに取り組めることを実践していきます。
4. 新型コロナウイルス感染、状況に合わせて 衛生管理・感染症予防に努め細心の注意を払い工夫しながら日々の保育を行っていきます。  
保護者や地域に向けて、感染対策をふまえた交流を図ります。
5. 創立100周年に向けて 法人の理念を共有し、実践・継承していけるよう努めます。
6. 地域や子育て世代のニーズを把握し、世代間交流・育児体験を実施する。保育の様子が分かるよう情報発信を工夫し、地域に選ばれる保育園を目指します。

### III 令和5年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1. 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 神様の愛と恵みに感謝する	(1)①「自分は愛されている」「大切にされている」という思いを育みます。 ②子ども自身が十分に共感してもらう経験をす

<p>(2)子ども達が主体的に生活する保育</p>	<p>る事で、友達の思いや痛みに気づくことが出来るよう丁寧に関わります。</p> <p>(2)①保育指針に沿い、保育を見直します。</p> <p>②各年齢の発達を見通しながら、子どもの成長過程をとらえた柔軟な保育内容を計画していきます。</p> <p>③子どもの興味、発信による保育計画の取り組み、育児担当制（ゆるやかな担当制）の中で保育を行います。</p> <p>④一人ひとりに合った援助を行えるよう特に気になる子どもに関してケース会議を行い職員間のみならず区の巡回心理相談の先生や総合センターとも連携を図ります。</p> <p>また、連携方法をリーダー以上が学びます。</p> <p>⑤日々の生活や情勢も考えながら行事について早めに検討していきます。</p>
<p>(3)異年齢保育の取り組み</p>	<p>(3) 年間を通して3人組(3, 4, 5歳児混合グループ)活動を行う他、以上児クラス、未満児クラスの交流の場を設けていきます。</p>
<p>(4)つながりのある保育</p>	<p>(4)①ドキュメンテーションを活用し、子どもの気持ちを職員全体で共有するとともに、多様な視点から子どもの姿を捉えていきます。</p> <p>②月齢や個別の発達に応じたつながりある環境を設定します。</p>
<p>(5)食育</p>	<p>(5)①給食職員は子どもの喫食状況を把握し、保育室との連絡ノートを活用し、メニュー立案や指導に当たります。</p> <p>②年齢に適した食育計画を給食職員と一緒にを行い、食への興味関心につながるような機会を設けます。また、季節の植物を育て、収穫の喜びを経験するなど園設備を活用し、給食室と連携した保育を行います。</p> <p>③喜んで食べる、豊かな経験となるよう クッキング、調理実演を取り入れていきます。</p>
<p>(6)身体機能の発達を促す身体作り</p>	<p>(6)①子どもの発達や特性に応じて安心して取り組める環境を工夫するとともにサーキット活動等を取り入れた保育をします。</p> <p>②専門的な指導方法を学び、日々の保育に取り入れて、日常の保育に活かせる運動遊びを学び直します。</p>

(7) 幼保小中一貫教育	(7) 他園や小中学校との交流の中で、就学意識を高め、学校への興味や関心を持たせるほか、区が進める幼保小中一貫教育に積極的に協力し情報交換をします。
--------------	--

## 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 園の保育方針、保育の取り組みを保護者に向けて発信	(1) ①事前に保護者より「子どもの育ち」について聴き取りを行い、保護者の思いを共有し、保育を行っていきます。 ②保育写真の掲示や遊びの経過、取り組み等、園の情報を保護者に理解してもらえるように、写真や動画をホームページや園内に掲示し、発信していきます。 ③年間を通して“保育参加”を受け入れ、園での子どもの生活を直接保護者に見てもらうことで、保護者と共に成長を喜び合い、家庭との連携に繋がります。 ④保護者からのリクエストの他、園からおすすめの献立レシピを提供していきます。
(2) 保護者同士のつながり、育ち合い	(2) 保護者同士の悩みや不安を解消できるよう、相談の場をつくります。
(3) 保護者への支援	(3) 保護者のニーズに沿い、それぞれに適した支援を実践していきます。

## 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 世代間交流の継続と地域に向けての情報発信	(1) ①これまで地域の方々との遊びや食事、特養老人ホーム、デイサービスへの降誕劇や触れ合い遊び等、日常生活の中でふれあいのひと時を持っていましたが、コロナ禍で実施できないため園だよりや季節のカードを贈ることで様子や取り組みを詳しく発信していきます。 ②小中高生を対象とし、保育体験を通じて将来の職業選択に役立つ場を提供していきます。
(2) 在宅子育て支援の拡充	(2) ホームページを活かし、保育園の情報として離乳食の作り方の動画や玩具の紹介(月齢と発達のねらい)をします。マタニティ講座や専門講師による講座を発信します。
(3) つながりのある居場所づくり	(3) 園庭や現地集合で在宅子育て家庭、妊産婦、高



	<p>齢者と交流。人数制限を緩和し、地域の人の交流の場を設ける。</p>
--	--------------------------------------

#### IV 令和5年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

##### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
<p>(1) 職員の意識改革</p> <p>(2) 職員の育成</p>	<p>(1) 組織の一員であることを認識した上で、それぞれの役割を自覚し、責任を果たすよう努めます。立場や状況を十分に理解し、お互い助け合い、認め合い、感謝し合える関係を作ります。</p> <p>(2) ①パートナー制度を継続することで、自発的に行動し、キャリア育成を考えるきっかけを作るとともに、精神的な支えを得ることで安心して働けるようにしていきます。</p> <p>②主任以外に副主任、専門リーダー、リーダー職を設け、働き方や役割分担を明確にします。</p> <p>③昼礼や日々の業務の申し送り、確認、打ち合わせ等報告・連絡・相談を密に行うことで、情報共有を図っていきます。</p> <p>④聖書研究会を通して法人理念の基礎となるキリスト教精神をより理解し深め保育活動につなげていきます。</p>
<p>(3) 職員の資質向上</p>	<p>(3) ①研修内容を職員内から出し合い、園内研修を行い、必要に応じて適した外部講師を招きます。</p> <p>②外部の研修に自発的に参加し、得た情報を全体に報告し、共有します。</p> <p>③自己の言動を振り返りながら、保育の見直し・人権擁護について学びます。</p>
<p>(4) 働き方改革</p>	<p>(4) ①週休二日制を継続し、有給取得率が向上をすることで、ワークライフバランスを保ち、就業意欲に繋げていきます。</p> <p>②行事準備は役割分担を明確にし、効率化を図ります。事務作業では今ある人材を流用することで、時間内に業務を完了することを目指します。</p> <p>③ICT化に向けたスキルを身につけるとともに環境を整えていきます。</p>
<p>(5) 育成支援</p>	<p>(5) 実習生、ボランティアを受け入れることで保育士の養成を行うと共に、保育士の人材確保に繋がります。</p>

## 2 施設整備

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 計画的な建物修繕	(1) 中長期修繕計画については、建物の現状を鑑みて優先される必要業務内容を検討してから修繕を行うことをする。 ① 屋上・外壁防水工事 ② 蓄電器・発電機の購入
(2) ICT 化導入	(2) Wi-Fi 環境の整備

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 保育保健及び保健衛生	(1) ①かんたんメール、サーベイランスの活用により感染症や危機管理、天災等による情報を園に限らず区内の情報を収集し、保護者に速やかに開示していきます。また、区や保健所との連携を取りながら予防に努めます。 ②看護師の専門分野を活かした子ども達の健康管理、事故防止に努めるとともに、アレルギー対応(エピペン)と熱性けいれん発生時(ダイアップ)の対応を伝えていきます。また、症状チェックシートを用意し、経過を記録出来るようにしていきます。 ③看護師による子ども達の既往歴や保健分野の情報収集、職員の健康把握に努めるとともに、保護者、子ども達の健康、安全を一緒に考えていきます。
(2) 専門講師による講演会	(2) 現代の子ども達の発達傾向や、その対策・ケアの仕方など、嘱託医による講演会や、おたよりを配布するなど、情報発信をしていきます。
(3) 防災、防犯対策の徹底	(3) ①設備点検表を定期的に活用していきます。AED・トランシーバーの使用方法を学び、定期的な訓練を行います。 ②非常食の備蓄量を把握し、置き場所を職員間で共有し、災害時に備えます。 ③専門家を招いて危険個所を洗い出し、不審者対応への課題や対策を学び、不審者対応訓練を行います。 ④ヒヤリハットを継続し、事故を未然に防げるよう職員全員で共有します。事故発生時には

	<p>経緯を記録し、原因を分析することで再発防止に努めます。</p> <p>⑤応急救護訓練、通報訓練の実施することでリスクマネジメントを学びます。</p> <p>⑥年2回各棟で災害時の細かいシミュレーションを行い、各クラス・個人で振り返り、情報共有する事で 災害時に備えます。</p> <p>お散歩マップや人数チェック表を用いて 事故防止や災害発生時に活用できるようにします。</p>
--	--

## V 令和5年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

特筆すべき事業等	増減予算額（前年度予算額）
(1) 建物整備 ①Wi-Fi 環境の整備 ②屋上・外壁防水工事 ③蓄電器・発電機の購入	(1) ①固定資産取得費支出 : 1,000,000 円（新規） ②、③については未定

## 令和5（2023）年度 富士見保育園事業計画

### I 施設の使命・運営理念

- ・ 子どもたちがちいさい時から、礼拝やお祈りを通して神の存在を知り、互いの違いを認め合い自主性や自律心、創造性を培い共に育ち合う保育を行う。
- ・ 様々な理由で利用する家庭の個々のニーズを的確に把握し、保護者への支援をすると共に、地域に住む子育て中の家庭にも支援を行う。
- ・ 日々の保育園生活、行事や多くの人との関わりを通して、皆から愛され、守られている事を実感して他者を愛する子どもに育てる。
- ・ 法人創立の精神を伝承し、キリストの香りのする施設作りと歴史と、伝統のある事業に誇りを持ち、法人のそれぞれの施設が、良好な運営ができるよう協力しあい、行政に提案できる施設の働きをしていく。
- ・ 法人の掲げた事業計画を基に一丸となって働きを表す。

### II 令和5年度の施設運営方針

富士見保育園は、現在の場所に60余年あります。今後も「地域に愛され親しまれる」よう事業を展開してまいります。保育については、子どもたちと生活を共にしながら、環境を整え、一人ひとりの心身の状態などに応じて適切に対応することを意識し、これまで私たちが実践し確立してきた乳児保育は「担当制保育」、幼児保育は「異年齢保育」をより良いものに充実させていきます。

また、新園舎施工中も子どもたちが様々な経験を培うことができるよう保育を守り、法人・設計業者・施工業者と情報を共有し、安全第一に進めてまいります。

今後、室内の細かな環境設定、園庭の設計など職員と話し合い子どもにとって豊かな心を育める環境、地域に必要な施設を目指すとともに年度途中に新園舎へ移行しても支障のないよう計画を進めてまいります。

1. 子どもたちの生活の場であるクラスを「より家庭に近いもの」とし、保育環境を整えていき、「子ども」「保護者」「保育士」が共に喜び・楽しみ・感動し合い、共に育ち合える場をつくります。
2. 一人ひとりの発達に合ったきめ細やかな援助ができるよう職員は常に話し合いや学びの場を持ち、保育内容の共通理解を図ります。また、保護者などの求めに対しては、誠意を持って対応できるよう知識・情報・技術・技能などの資質と能力を向上させることを職員は自覚し、働いていきます。
3. 保育内容充実のために、園内研修、法人研修を通し研鑽していくこと。法人内外で積極的に「公開保育」を行い、情報を交換しながら、それぞれが持つ課題を理解し、職員が共通の保育観・子ども観をもち、働きに活かせるようにしていきます。
4. 思いをひとつにして互いに助け合い、支え合い、協力し合い、居心地の良い職場とすると

ともに温かな雰囲気職員集団であり続けます。互いに慣れ合いにならぬよう福祉人としての人間性・専門性を培います。

5. 今年度も新型コロナウイルスへの対応、対策が必要となってくる。これまでの経験を活かし、そのつど見極め、判断し対応していきます。春からは5類への変更、マスクの緩和等大きく変化していく中で法人、行政と情報を共有し利用者、職員が正しく感染防止対策をしていけるよう努めていきます。
6. 令和5年度、冬頃まで新園舎施工工事を行っていく計画である。これまでと同様に子ども、保護者、職員、近隣住民の安全を第一に考え、施工中の保育、行事の計画等対応をしていきます。戸外活動は、北小岩小学校校庭、散歩や公園を活用し、園児が体を動かせる配慮をしていきます。その際、安全な交通ルートの確保、地域の方たちの理解を得て公園を使用していき、まだ歩行が確立していない0歳児は屋上テラスで戸外活動をしていきます。運動会は、隣接している北小岩小学校の校庭、体育館を借りて行います。限られた中でも職員で知恵を出し合い、工夫し新園舎での保育、活動を見据え計画的に進めていきます。また、「架け橋期」と言われる5歳児～1年生への関わりを交流だけでなく連続性をもって援助していけるよう小学校と連携を図り、互いに支え合える環境を整えていきます。

### Ⅲ 令和5年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
<p>(1) 保育内容の充実 子どもは自ら遊びを発展させていきながら、思考力や企画力、想像力等の能力を伸ばすと共に友達と協力することや環境への関わり方などを通してその子自身の人格が形成されます。</p>	<p>(1) 学びの体験となる遊びに積極的かつ自主的に関わり遊びこめる環境を提供し、子ども自身が感情をコントロールができ社会性が身につくよう成長を見守ります。</p>
<p>(2) 保育内容の向上・継承 乳児保育は、「担当制」、幼児保育は「異年齢」をより充実させていき、キリスト教保育と共に継承していきます。</p>	<p>(2) 乳児保育では、「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものに関わり感性が育つ」の三つの視点から保育内容を整理、一人ひとりの発達に合ったきめ細やかな家庭的な援助をすすめていきます。 幼児保育では、「体を使う力」「考える力」「人と関わる力」の三つの柱を念頭に年間計画に組み込み一人ひとりを大切に育てていきます。 キリスト教保育で大切にしている目に見えない心の発達を子どもとの生活の中で、保育士も共に培っていきます。</p>
<p>(3) 食育・食の安全 年間のクッキング、食育計画を立</p>	<p>(3) 食育の年間計画として、クッキング・栽培活動・収穫体験・給食室前の食材展示など、子ども</p>

て、栄養士、調理員、保育士で連携を取りアレルギー対応・誤食のないよう努めます。	が食に興味、関心を持てるよう、心身の発達へ繋がるよう促します。個々に合わせた食事の形状、量、アレルギー除去食など栄養士・調理師・保育士が協力、連絡、報告を密にし、提供します。
---	---

## 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 法人・保育園の方針への理解 社会福祉法人ベタニヤホーム、富士見保育園の方針、キリスト教保育のあり方を十分に理解していただきます。	(1) 運営上、保護者の方の理解、協力は必要不可欠なため、父母の会総会・クラス懇談会・行事等でその都度、方針や保育のあり方を伝えていきます。 昨年度、第三者評価でいただいた意見を職員で理解し受けとめ日々の保育の中に取り入れていくこと、より丁寧に説明が必要な事を精査し活かしていきます。
(2) 保護者支援 家庭状況、働き方など様々な利用者がある中で相談などに真摯に応じていきます。	(2) 事務室、クラス等で保護者の様子を気にかかけ、声を掛けます。自ら発信されない方への思いやり、寄りそう心を大切にします。園の方針は決まっていますが、ケースによって一辺倒にせず心で対応します。また、支援が必要な保護者には関係機関と連携を図り援助します。

## 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 地域を愛し、愛される保育園	(1) コロナ禍において外部との交流を少しずつ再開してきた。私たちに何ができるのかを常に考え地域との繋がりを大切にし、お互いに見守り、見守られる保育園としていきます。新園舎では、新たな地域事業も計画している。地域の方にも発信できるようにしていきます。 園舎建替えも地域の理解があって行うことができる。今後、江戸川区小岩地区の保育園として子育て世帯、児童、高齢者等、保育園を通して交流できる場作りをしていきます。

## IV 令和5年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 職員の資質向上	(1) キャリアアップの仕組みを活かし主任、副主任、専門リーダー、リーダーが連携し職員の資質

	<p>向上に努めます。それぞれの職務に必要な研修、専門性を高めていきたい研修を受講し、日頃の保育の中で実践していくことで互いに高めていけるよう努めます。</p> <p>また、職務分掌に記されているそれぞれの役割を理解し、働きに活かせるようにしていきます。</p>
(2) 接遇マナーの振り返り	<p>(2) 人との関わり方、立ち振る舞い、言葉遣い、身嗜み、電話対応等、保育の場において子どもたちの手本となるよう自分の行動を常に振り返り、人間力を培います。</p> <p>常に相手の立場になって物事を考える事を意識し、子ども・職員・保護者が心を通わせながら日々の保育を育んでいきます。</p> <p>自らの子どもへの関わり、言葉かけなどがふさわしいものであるかチェックリスト、会議等で見つめ直す機会を持ちます。</p>
(3) 園内研修	<p>(3) 職員が同じ思いで進んでいき、共通理解し利用者に寄り添う為には、日頃から話し合いをしていくことを意識する。全職員が集まり、日々の思いや課題などをテーマに発信する力、考える力、聞く力、思う力を養います。</p> <p>昨年度から「保育の見直し」として担当制保育のあり方について職員全体で話し合い、共通の保育、統一を行っていけるよう進めている。</p> <p>今年度も園の保育について職員全体で話し合いを進め外部からも保育を見ていただき意見を参考にしながら保育の質を高めていきます。</p>

## 2 施設整備

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 建物維持管理	<p>(1) 新園舎が竣工までの間、現園舎の安全を維持していきます。</p> <p>新園舎でも継続的に使用できるものを選定しコストダウンを図っていくとともに維持管理の中長期計画を立てていきます。</p>

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 防災意識を高める	<p>(1) 地震、水害、火事等、災害時に各自自分の役割を把握し的確に行動できるようマニュアルを徹底</p>

<p>(2) 安全対策、点検</p>	<p>し、訓練も様々なケースを想定し即時に対応できるようにしていきます。</p> <p>発電機・蓄電器等、防災用品、非常食等を十分に備え対策に講じています。</p> <p>新園舎でのマニュアルも作成していきます。</p> <p>(2) 職員で施設安全チェック表をもとに職員が見回り園内・園庭の安全確認を行います。</p> <p>利用者の安心、安全を守るためにもその都度、環境を見直します。</p> <p>また、新園舎での安全対策も計画し移行とともに徹底できるようにしていきます。</p>
--------------------	---

## V 令和 5 年度特筆すべき取り組み

特筆すべき事業等	増減予算額（前年度予算額）								
<p>(1)園舎建替え・解体・新園舎竣工・園庭整備</p> <p>(2)園舎ありがとう委員会</p> <p>(3)(仮称)建替え委員会</p>	<p>(1)電気設備取り付け</p> <table border="0" data-bbox="746 925 1393 1108"> <tr> <td>セキュリティー・施錠・カメラ・外灯等</td> <td>200 万</td> </tr> <tr> <td>室内器具 棚・机・椅子等</td> <td>200 万</td> </tr> <tr> <td>ホールボルダリング</td> <td>60 万</td> </tr> <tr> <td>園庭設備・遊具</td> <td>1000 万</td> </tr> </table> <p>室外日除けネット</p> <p>(2)昨年度は、園舎開放を数回行い多くの卒園児、保護者等関係者の方に遊びにきていただくことができた。</p> <p>今年度も園舎解体前、竣工時に様々な企画をし、進めていきます。</p> <p>(3)建替え後の新たな富士見保育園のあり方や事業・施設運営に関する検討を行っていきます。</p> <p>(建替え委員会を改編)</p>	セキュリティー・施錠・カメラ・外灯等	200 万	室内器具 棚・机・椅子等	200 万	ホールボルダリング	60 万	園庭設備・遊具	1000 万
セキュリティー・施錠・カメラ・外灯等	200 万								
室内器具 棚・机・椅子等	200 万								
ホールボルダリング	60 万								
園庭設備・遊具	1000 万								



## 令和5（2023）年度 こひつじ保育園事業計画

### I 施設の使命・運営理念

- ・ベタニヤホーム憲章の精神に基づき保護者、職員と地域社会がひとつになって子どもの幸せを目指します。
- ・子どもの個性を大切にし、心も身体もゆっくりとしっかりと育てます。

### II 令和5年度の施設運営方針

法人創立100周年を迎えるにあたり、職員一人ひとりが大きな歴史の節目の一員であることに喜びを感じると共に法人理念に沿った働きができるよう、保育・保健・給食のそれぞれの専門性を保育に十分活かせるよう計画性を持って進めて参ります。

令和5年度、私たちの法人は創立100周年を迎えます。

私たち職員一人ひとりはその大きな歴史の節目の一員であることを理解し改めて、キリストの隣人愛のもと、同じ方向を向いて事業を進めていかななくてはならないと強く感じています。

そのためには共に働く職員1人ひとりがモチベーションを高く持ち、保育・保健・給食の担当を担う職員1人ひとりが持っている専門性を十分活かせるよう、園長・副園長・主任の連携を密にし、各分野から提案しやすい環境をつくり実現化して行けるよう計画性を持ちつつ、この先も「選ばれる保育園」して中期的課題を見据えつつ保育園運営に努めていきます。

特に令和5年度は以下の4点を重点活動とし進めて参ります。

- ① 新型コロナウイルスにこれまでの3年間は思うような保育活動を行うことができませんでした。  
今後、感染症の種類が2類から5類に変更されていく中でこれまで行えなかった行事や活動に関して、社会情勢を見ながら再開していきたいと考えています。
- ② 計画・立案から3年が経過しようやくスタートしたICT化を進めるにあたり、情報漏洩などの危険性があるため使用する際のルールを学び、保護者の理解を得ながら保育や働き方改革としても活かして行けるよう進めていきます。
- ③ 乳幼児を守るため社会的にみる犯罪を予測し女性中心の職場ゆえの守りの弱い部分をどのようにして強いものとするのか訓練を含め防犯対策を強化して行きます。
- ④ ホームページを十分に活用できるようSNSの知識を深め、子育てのヒントや地域活動や求人等、園からの発信力を強めて行いきます。

### III 令和5年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

#### 1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 子ども達が神さまに愛されているかけがえのない存在である事を感じられる保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神さまにいつも守られていることや感謝の気持ちを言葉や行動により、職員が自ら示し伝えていきます。</li> <li>・讃美歌、祈り、聖書のお話を通して神さまを身近に感じられる保育を実践していきます。</li> <li>・<u>鳥や花、全ての動植物を通して神さまの愛を感じることでできる保育環境を作っていく。</u></li> <li>・子どもの自由に意見を表すことができる環境を作るとともに一人ひとりの発達に応じた発想(力)を大切に尊重していきます。</li> </ul>
(2) 「光・暗やみ・外遊び」を意識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう「早</li> </ul>

<p>した保育計画づくり</p> <p>(3) 担当制を取り入れた乳児保育</p> <p>(4) 遊びを通して発達にあった様々な体験を重ね豊かな心が育つ幼児保育</p> <p>(5) 互いに認め合い育ち合うための異年齢保育</p> <p>(6) 特別な配慮を含めた子どもへの対応</p> <p>(7) 食生活・食育</p> <p>(8) 保健</p>	<p>寝・早起き・朝ごはん」を無理なく実践するために「光・暗やみ・外遊び」意識した保育を行い、保護者との協力のもと規則正しい生活習慣の確立を目指していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>特に外遊びについては園内研修で学んだことを活かし、時間や天候などにとらわれることなく十分に遊びこめる環境を作っていきます。</u></li> <li>・ 担当制において信頼関係を基盤に、安心した生活の中で、子ども達の自尊心を大切に、心地良い温かな関りをもち、基本的な生活習慣を身につけられるよう丁寧な保育に取り組んでいきます。</li> <li>・ <u>保育空間を十分に使い、1人ひとりの成長にあった遊具・教材を選び十分遊び込める環境を必要に応じて設定し、豊かな心を育てていきます。</u></li> <li>・ <u>体を動かす楽しさを感じながら健康な身体作りの方法を「体育あそび」の時間を使い専門講師より学び、協働作業で就学につなげていきます。</u></li> <li>・ <u>体育遊びから運動遊びに移行できるよう検討していきます。</u></li> <li>・ クラス同士が行き来できる環境を設定し異なる年齢の子ども達が共に育ちあうための保育が日常的に行われるようにしていきます。</li> <li>・ 遊びを通して物事や人との関係を深め、広げていく活動や集団生活の場において主体的に生き生きと活動できる保育環境を整えていきます。</li> <li>・ <u>療育機関との連携を深め、相互が協働して個別計画を立て、その子にとって最良の配慮を意識し保育に取り組んでいきます。</u></li> <li>・ 巡回指導員や訪問支援員の指導を受けながら、全職員が連携、協力して専門性を生かし定期的に報告会を開きながら共通理解のもと保育を進めていきます。</li> <li>・ 健康と安全が守られ安心感を持ちながら落ち着いた食事時間が作れるよう配慮の行き届いた流れを職員全体で作っていきます。</li> <li>・ 「作る喜び」と「食することができる幸せ」をみんなで分かち合うことができるよう「クッキング」や「野菜栽培」などを多く取り入れ「食」に対して子ども達が興味を持てるようにします。</li> <li>・ 食育計画の中で食物に関する知識を伝える機会を計画的に持っていきます。</li> <li>・ 看護師との協働のもとプライベートゾーンへの取り組みを行い子どもたち1人ひとりの違いを尊重し合える仲間づくりを行います。</li> <li>・ 感染症対策の一環として、看護師の指導のもと子ども達に「手の洗い方指導」を行っていきます。</li> </ul>
---	---

## 2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
------------	--------------

<p>(1) 子ども中心にした関係を大切にし、共に子どもの成長を喜び あう関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に謙虚さと優しさ、そして<u>保護者の思いを汲み取り尊重していくなかで信頼関係を築き、子どもの育ちを援助していきます。</u></li> <li>・日頃の保育の意図や保育園の取り組みについて具体的に伝えながら共に子どもの成長について考え対話を重ねていきます。</li> <li>・<u>保護者に好評である保育活動の写真の掲示をはじめ園だよりやホームページを活用し子どもの様子や毎月の目標やねらい、園の取りくみを視覚化しながら伝えていきます。</u></li> </ul>
<p>(2) 個別支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの生活や発達について情報交換をし、問題や悩みを共に考え育ちを支えていく関係作りを進めていきます。</li> <li>・<u>日ごろの子育てへの不安やちょっとした相談についても気軽に相談できる環境を作っていきます。</u></li> <li>・保護者の置かれている環境も複雑化している為、(第二子出産時、近くに祖父母等の協力者がいない家庭が多く対応に苦慮されている等) 保護者の背景・抱えている困難な状況に合わせて、地域の公的な関係機関と連携を取りながら子育て支援を行っていきます。</li> </ul>

### 3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 地域の子育て支援の拠点づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策を充分に行ったうえで地域活動を計画し保育士のみならず看護師・栄養士の協力のもと地域の子育て支援を行っていきます。</li> </ul>
(2) 一時預かり保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てのリフレッシュとしての利用が近年多くなっている。これからも親のレスパイト機能の一環として一時預かり事業を充実させ安心して利用できるよう子どもの状態を考慮しながら保育を行っていきます。</li> </ul>
(3) 異世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町会与連携しながら地域の見守りの一員として互いに交流を深めていきます。</li> </ul>
<u>(4) 積極的な広報活動</u>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動として、ホームページを充実させ保育園の働きや情報を発信していきます。</li> </ul>

## IV 令和5年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

### 1 人材育成

重点的な基盤整備目標	具体的な取り組み・事業等
(1) 法人の理念の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教保育の充実・実践のため、「キリスト教保育」(キリスト教保育連盟)の聖句の意味を担当牧師による聖書研究会の時間を用いて深めていきます。</li> <li>・もっとキリスト教になじめるよう担当牧師に相談し、</li> </ul>
(2) 職員育成と園内研修計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リモート研修を積極的に活用し職員が共通し学びができるよう園内研修として計画していきます。</li> <li>・子どもの権利擁護のみならず保護者や職員などいろいろな立場で考えることができるよう学びの場を計画します。</li> <li>・外部の研修で学んだ知識や技術などについては、全職</li> </ul>

(3) 働き方改善の取り組み	<p>員に報告し共通理解を図り同じ価値観のもと保育に携わるようにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員それぞれの課題を明確にし、経験年数に応じた研修への参加と自主研修にも積極的に参加できるようにします。</li> <li>・職員会議は充実したものとする為、事前に議題を明確にし、それぞれの意見をまとめた上で行っていきます。また、時間配分などにも気を配り保育に支障ないよう進めて行きます。</li> <li>・子育て中の職員や親を介護する職員に対しても共に長く働き続けられる環境作りを目指していきます。</li> <li>・働く仲間が常に「心にゆとり」が持てるよう互いに協力しあえる仲間づくりに励んでいきます。</li> </ul>
----------------	---

## 2 施設整備

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 建物管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物検査、設備検査の報告をふまえて計画を作成し器具の耐久年数確認や備品点検を行います。</li> <li>・築15年を経過しているため外壁のひびや床の割れなど細かい部分での補修が必要となってきた。子どもへの安全対策と合わせて建物維持管理に努めてまいります。</li> </ul>
(2) ICT化の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育管理システム「コドモン」を活用し、まずは欠席連絡や出席状況管理から進めていく。</li> <li>また、日誌や園児記録、指導案計画についても、様式を確認しながら順次活用に向けて進めていく。</li> <li>・これまで延長保育料等の利用料について直接現金で保護者より徴収しているが、徴収仲介会社「エンペイ」を活用し円滑に業務を進めるようにする。</li> </ul>
(3) コットへの移行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度より1歳児・2歳児クラスでコットに移行する。尚、令和6年度より随時幼児クラスも導入する。</li> </ul>

## 3 危機管理

重点的な基盤整備目標	主な取り組み
(1) 子どもの安全能力を高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中でルールを知らせその中で少しずつ危険予知や注意する事を覚えていけるような保育に心掛けます。</li> <li>・常に子どもの活動場所から目を離さないようにし、特に戸外活動時は随時人数確認をしながら、危険を伴う活動を予測して安全に配慮していきます。</li> <li>・保育室内や戸外活動時の危険事項や安全管理については共通理解を持って保育を行います。</li> <li>・保育活動の一環として「交通安全教室」を警察の方の協力のもと実施し子どもたち自身の安全能力を高めていきます。</li> </ul>
(2) 防災・防犯・事故・感染症対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震だけでなく、豪雨時の水害などを想定した訓練を</li> </ul>

<p>(3) 保育園の全てに係わる人たちの立場と権利尊重。</p>	<p>行うと同時にBCPの見直しを行っていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「入らない・近づけない」を意識した不審者対応訓練を行うと同時にセキュリティについても見直しを行っていきます。</li> <li>・ヒヤリハットは事故記録と同一様式し小さなものを含め書面で報告し、全職員が状況を把握し再発防止に努めていきます。</li> <li>・看護師により、アレルギー児のエピペンやけいれんの対応を学んでいきます。</li> <li>・嘔吐や下痢の処理、手洗い、掃除などのマニュアルを全職員で徹底して、感染防止に努めるとともに、保育室の清掃・玩具の消毒など日常的に衛生管理を行います。</li> <li>・園児・保護者のみならず職員・地域の方々など保育園に関係する全ての人の立場を尊重し権利を守ります。</li> </ul>
-----------------------------------	---

**V 令和5年度特筆すべき取り組み、事業及び予算**

特筆すべき事業等	増減予算額（前年度予算額）
(1) コット購入	(1) 1,200,000 円



# 令和5年度資金収支予算

# 令和5年度法人単位及び各拠点区分 資金収支予算

31～32 頁	法人単位資金収支予算概要
33～36 頁	各拠点区分資金収支予算総括表
37～40 頁	法人本部拠点区分資金収支予算
41～43 頁	母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算
44～47 頁	菊川保育園拠点区分資金収支予算
48～52 頁	富士見保育園拠点区分資金収支予算
53～56 頁	こひつじ保育園拠点区分資金収支予算



## 令和5年度法人単位資金収支予算概要

＜収入＞		(単位:円)			
	拠点区分	令和5年度	令和4年度	増(▲)減	増減率
勘定科目					
事業活動による収入	児童福祉事業収入(a)	134,340,000	121,840,000	12,500,000	10.3%
	措置費収入	95,200,000	95,200,000	0	
	その他の事業収入	39,140,000	26,640,000	12,500,000	46.9%
	(補助金事業収入(公費))	34,140,000	26,640,000	7,500,000	28.2%
	(補助金事業収入(一般))	5,000,000	0	5,000,000	100.0%
	保育事業収入(b)	711,575,600	680,173,000	31,402,600	4.6%
	委託費収入	394,564,000	378,053,000	16,511,000	4.4%
	その他の事業収入	316,851,600	301,960,000	14,891,600	4.9%
	(補助金事業収入)	314,076,600	299,527,000	14,549,600	4.9%
	(補助金事業収入(一般))	2,775,000	2,433,000	342,000	14.1%
	借入金利息補助金収入(d)	618,298	707,708	▲ 89,410	-12.6%
	経常経費寄附金収入(e)	703,000	708,000	▲ 5,000	-0.7%
	受取利息配当金収入(f)	59,000	87,000	▲ 28,000	-32.2%
	その他の収入(g)	12,868,000	13,504,000	▲ 636,000	-4.7%
	受入研修費収入	478,000	480,000	▲ 2,000	
	利用者等外給食費収入	9,244,000	9,972,000	▲ 728,000	-7.3%
	<b>経常収入計(1)=(a+b+c+d+e+f+g)</b>	<b>860,163,898</b>	<b>817,019,708</b>	<b>43,144,190</b>	<b>5.3%</b>
施設整備等収入	施設整備等補助金収入(h)	155,576,000	127,289,000	28,287,000	22.2%
	設備資金借入金収入(j)	109,900,000	0	109,900,000	100.0%
	<b>施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)</b>	<b>265,476,000</b>	<b>127,289,000</b>	<b>138,187,000</b>	<b>108.6%</b>
その他の活動による収入	積立資産取崩収入(l)	123,055,000	160,245,000	▲ 37,190,000	-23.2%
	積立資産取崩収入	123,055,000	160,245,000	▲ 37,190,000	-23.2%
	(林基金積立資産取崩収入)	6,500,000	0	6,500,000	100.0%
	(備品等購入積立資産取崩収入)	2,700,000	0	2,700,000	100.0%
	(保育所施設整備積立資産取崩収入)	93,655,000	159,415,000	▲ 65,760,000	-41.3%
	(施設整備費積立資産取崩収入)	20,200,000	0	20,200,000	100.0%
	拠点区分間繰入金収入(n)	23,400,000	21,400,000	2,000,000	9.3%
	サービス区分間繰入金収入(o)	50,000	50,000	0	
	その他の活動による収入(p)	225,203	0	225,203	
	<b>財務活動による収入計(3)=(l+m+n+o+p)</b>	<b>146,730,203</b>	<b>181,695,000</b>	<b>▲ 34,964,797</b>	<b>-19.2%</b>
<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>1,272,370,101</b>	<b>1,126,003,708</b>	<b>146,366,393</b>	<b>13.0%</b>	

<支 出>

(単位:円)

勘定科目		令和5年度	令和4年度	増(▲)減	増減率
事業活動による支出	人件費支出(p)	674,103,000	640,715,500	33,387,500	5.2%
	役員報酬支出	2,500,000	2,500,000	0	
	職員俸給支出	391,122,000	375,178,000	15,944,000	4.2%
	職員賞与支出	127,993,000	117,360,000	10,633,000	9.1%
	非常勤職員給与支出	60,829,000	57,881,000	2,948,000	5.1%
	法定福利費支出	86,609,000	83,158,000	3,451,000	4.1%
	事業費支出(q)	78,170,000	71,276,000	6,894,000	9.7%
	給食費支出	30,284,000	29,680,000	604,000	2.0%
	水道光熱費支出	20,094,000	15,800,000	4,294,000	27.2%
	消耗器具備品費支出	5,780,000	5,000,000	780,000	15.6%
	事務費支出(r)	74,626,000	65,734,000	8,892,000	13.5%
	研修研究費支出	3,214,000	2,592,000	622,000	24.0%
	事務消耗品費支出	9,888,000	5,340,000	4,548,000	85.2%
	業務委託費支出	22,175,000	13,003,000	9,172,000	70.5%
	支払利息支出(s)	875,880	1,011,410	▲ 135,530	
	その他の支出(t)	9,244,000	9,972,000	▲ 728,000	
利用者等外給食費支出	9,244,000	9,972,000	▲ 728,000	-7.3%	
<b>経常支出計(5)=(p+q+r+s+t)</b>	<b>837,018,880</b>	<b>788,708,910</b>	<b>48,309,970</b>	<b>6.1%</b>	
に施設整備等	設備資金借入金元金償還支出(u)	13,118,000	13,118,000	0	
	固定資産取得支出(v)	403,010,000	290,904,000	112,106,000	38.5%
	構築物取得支出	12,000,000	0	12,000,000	100.0%
	器具及び備品取得支出	10,850,000	4,200,000	6,650,000	158.3%
	建設仮勘定取得支出	380,160,000	286,704,000	93,456,000	32.6%
固定資産除却・廃棄支出(w)	0	0	0		
<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>416,128,000</b>	<b>304,022,000</b>	<b>112,106,000</b>	<b>36.9%</b>	
その他の活動	積立資産支出(x)	6,875,000	9,289,000	▲ 2,414,000	-26.0%
	退職給付引当資産支出	6,875,000	6,789,000	86,000	
	積立資産支出 (保育所施設整備積立資産支出)	0	2,500,000	▲ 2,500,000	-100.0%
	拠点区分間繰入金支出(z)	23,400,000	21,400,000	2,000,000	9.3%
	サービス区分間繰入金支出(aa)	50,000	50,000	0	
	その他の活動による支出(ab)	0	515,273	▲ 515,273	
	長期前払費用支出	0	515,273	▲ 515,273	-100.0%
	<b>財務支出計(7)=(x+y+z+aa+ab)</b>	<b>30,325,000</b>	<b>31,254,273</b>	<b>▲ 929,273</b>	<b>-3.0%</b>
<b>予備費(8)</b>	<b>13,477,948</b>	<b>5,206,725</b>	<b>8,271,223</b>	<b>158.9%</b>	
<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>1,296,949,828</b>	<b>1,129,191,908</b>	<b>167,757,920</b>	<b>14.9%</b>	
<b>当期資金収支差額(10)=(4)-(9)</b>	<b>▲ 24,579,727</b>	<b>▲ 3,188,200</b>	<b>▲ 21,391,527</b>	<b>671.0%</b>	
<b>前期末支払資金残高(11)</b>	<b>213,822,993</b>	<b>190,467,257</b>	<b>23,355,736</b>	<b>12.3%</b>	
<b>当期末支払資金残高(12)=(10)+(11)</b>	<b>189,243,266</b>	<b>187,279,057</b>	<b>1,964,209</b>	<b>1.0%</b>	

### 令和5年度各拠点区分資金収支予算総括表

(単位:円)

	拠点区分	法人本部	母子生活支援施設 ベタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園	法人全体
	勘定科目						
事業活動による収入	児童福祉事業収入(a)	0	134,340,000	0	0	0	134,340,000
	措置費収入	0	95,200,000	0	0	0	95,200,000
	(事務費収入)	0	93,000,000	0	0	0	
	(事業費収入)	0	2,200,000	0	0	0	
	その他の事業収入	0	39,140,000	0	0	0	39,140,000
	(補助金事業収入(公費))	0	34,140,000	0	0	0	34,140,000
	<補助金収入>	0	26,540,000	0	0	0	
	<都サービス推進費補助金収入>	0	7,600,000	0	0	0	
	(補助金事業収入(一般))	0	5,000,000	0	0	0	5,000,000
	<休眠預金等助成金>	0	0	0	0	0	
	<その他の補助金収入>	0	5,000,000	0	0	0	
	(受託事業収入)	0	0	0	0	0	
	(その他の事業収入)	0	0	0	0	0	
	保育事業収入(b)	0	0	239,612,000	228,539,000	243,424,600	711,575,600
	委託費収入	0	0	138,789,000	136,275,000	119,500,000	394,564,000
	利用者等利用料収入	0	0	160,000	0	0	
	(利用者等利用料収入(一般))	0	0	160,000	0	0	
	その他の事業収入	0	0	100,663,000	92,264,000	123,924,600	316,851,600
	(補助金事業収入)	0	0	100,231,000	91,965,000	121,880,600	314,076,600
	<補助金収入>	0	0	78,657,000	75,543,000	104,031,600	
	<保育サービス推進事業補助金収入>	0	0	9,660,000	5,664,000	8,067,000	
	<保育士等キャリアアップ補助金収入>	0	0	11,914,000	10,758,000	9,782,000	
	(補助金事業収入(一般))	0	0	432,000	299,000	2,044,000	2,775,000
	<利用料収入>	0	0	432,000	299,000	2,044,000	
	<その他の補助金収入>	0	0	0	0	0	
	(受託事業収入)	0	0	0	0	0	
	(その他の事業収入)	0	0	0	0	0	
	<その他の事業収入>	0	0	0	0	0	
	<その他の事業収入(拠点区分取引)>	0	0	0	0	0	
	駐車場収入(c)	0	0	0	0	0	0
駐車場収入	0	0	0	0	0		
借入金利息補助金収入(d)	0	0	498,978	0	119,320	618,298	
借入金利息補助金収入	0	0	498,978	0	119,320		
経常経費寄附金収入(e)	280,000	220,000	10,000	143,000	50,000	703,000	
経常経費寄附金収入	280,000	220,000	10,000	143,000	50,000		
受取利息配当金収入(f)	5,000	30,000	5,000	6,000	13,000	59,000	
受取利息配当金収入	5,000	30,000	5,000	6,000	13,000		
その他の収入(g)	100,000	350,000	5,434,000	4,044,000	2,940,000	12,868,000	
受入研修費収入	0	300,000	60,000	58,000	60,000	478,000	
利用者等外給食費収入	0	0	3,502,000	2,862,000	2,880,000	9,244,000	
雑収入	100,000	50,000	1,872,000	1,124,000	0		
(雑収入)	0	50,000	1,872,000	1,124,000	0		
(共済会退職金収入)	100,000	0	0	0	0		
<b>経常収入計(1)=(a+b+c+d+e+f+g)</b>	<b>385,000</b>	<b>134,940,000</b>	<b>245,559,978</b>	<b>232,732,000</b>	<b>246,546,920</b>	<b>860,163,898</b>	
施設整備等収入	施設整備等補助金収入(h)	0	0	0	155,576,000	0	155,576,000
	施設整備等補助金収入	0	0	0	155,576,000	0	155,576,000
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入(i)	0	0	0	0	0	0
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0	
	設備資金借入金収入(j)	0	0	0	109,900,000	0	109,900,000
	設備資金借入金収入	0	0	0	109,900,000	0	109,900,000
	固定資産売却収入(k)	0	0	0	0	0	
	車輛運搬具売却収入	0	0	0	0	0	
器具及び備品売却収入	0	0	0	0	0		
<b>施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>265,476,000</b>	<b>0</b>	<b>265,476,000</b>	

(単位:円)

勘定科目	拠点区分						法人全体
	法人本部	母子生活支援施設 ベタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園		
積立資産取崩収入(l)	6,500,000	0	0	116,555,000	0	123,055,000	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	0		
長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	0		
積立資産取崩収入	6,500,000	0	0	116,555,000	0	123,055,000	
(職員共済会積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0		
(林基金積立資産取崩収入)	6,500,000	0	0	0	0	6,500,000	
(人件費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0		
(備品等購入積立資産取崩収入)	0	0	0	2,700,000	0	2,700,000	
(保育所施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	93,655,000	0	93,655,000	
(施設整備等積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0		
(施設整備費積立資産取崩収入)	0	0	0	20,200,000	0	20,200,000	
事業区分間繰入金収入(m)	0	0	0	0	0	0	
事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金収入(n)	23,400,000	0	0	0	0	23,400,000	
拠点区分間繰入金収入	23,400,000	0	0	0	0		
サービス区分間繰入金収入(o)	0	50,000	0	0	0	50,000	
サービス区分間繰入金収入	0	50,000	0	0	0		
その他の活動による収入(p)	0	0	175,930	49,273	0	225,203	
長期前払費用収入	0	0	175,930	49,273	0		
<b>財務活動による収入計(3)=(l+m+n+o+p)</b>	<b>29,900,000</b>	<b>50,000</b>	<b>175,930</b>	<b>116,604,273</b>	<b>0</b>	<b>146,730,203</b>	
<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>30,285,000</b>	<b>134,990,000</b>	<b>245,735,908</b>	<b>614,812,273</b>	<b>246,546,920</b>	<b>1,272,370,101</b>	

(単位:円)

勘定科目	拠点区分					
	法人本部	母子生活支援施設 ベタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園	法人全体
人件費支出(p)	19,467,000	96,300,000	185,346,000	185,719,000	187,271,000	674,103,000
役員報酬支出	2,500,000	0	0	0	0	2,500,000
職員俸給支出	10,570,000	60,000,000	97,868,000	115,059,000	107,625,000	391,122,000
(基本給)	8,236,000	42,520,000	79,659,000	86,721,000	87,344,000	304,480,000
(特殊勤務手当)	0	1,500,000	1,457,000	1,539,000	1,551,000	
(超過勤務手当)	17,000	840,000	680,000	870,000	900,000	
(通勤手当)	416,000	2,300,000	1,693,000	2,528,000	2,330,000	9,267,000
(宿直手当)	0	2,200,000	0	0	0	
(役職手当)	840,000	2,040,000	1,440,000	1,440,000	1,440,000	
(職務手当)	0	0	720,000	720,000	1,080,000	
(子ども手当)	72,000	300,000	576,000	720,000	432,000	
(住宅手当)	0	800,000	125,000	457,000	1,097,000	
(母子処遇改善費)	0	6,000,000	0	0	0	6,000,000
(保育士処遇改善費)	0	0	10,198,000	15,678,000	10,011,000	35,887,000
(キャリアアップ分)	0	0	1,320,000	4,386,000	1,440,000	7,146,000
(危険手当)	0	1,500,000	0	0	0	
(調整手当)	989,000	0	0	0	0	989,000
職員賞与支出	3,756,000	19,000,000	31,786,000	35,051,000	38,400,000	127,993,000
非常勤職員給与支出	0	4,700,000	30,218,000	10,911,000	15,000,000	60,829,000
派遣職員費支出	0	0	0	0	0	
退職給付支出	267,000	600,000	1,602,000	1,335,000	1,246,000	
(退職給付支出)	267,000	600,000	1,602,000	1,335,000	1,246,000	
(退職金)	0	0	0	0	0	
法定福利費支出	2,374,000	12,000,000	23,872,000	23,363,000	25,000,000	86,609,000
事業費支出(q)	0	7,674,000	24,697,000	18,380,000	27,419,000	78,170,000
給食費支出	0	84,000	11,100,000	8,100,000	11,000,000	30,284,000
保健衛生費支出	0	650,000	500,000	800,000	500,000	
保育材料費支出	0	0	2,000,000	2,810,000	5,000,000	
日用品費支出	0	150,000	0	0	0	
水道光熱費支出	0	3,900,000	6,144,000	3,850,000	6,200,000	20,094,000
消耗器具備品費支出	0	300,000	1,680,000	1,300,000	2,500,000	5,780,000
保険料支出	0	450,000	473,000	306,000	359,000	
賃借料支出	0	120,000	2,650,000	854,000	1,560,000	
車輦費支出	0	100,000	0	0	0	
教育指導費支出	0	1,120,000	0	0	0	
教養娯楽費支出	0	750,000	0	0	0	
雑支出	0	50,000	150,000	360,000	300,000	
事務費支出(r)	14,068,000	18,303,000	13,391,000	18,094,000	10,770,000	74,626,000
福利厚生費支出	101,000	920,000	635,000	736,000	670,000	
職員被服費支出	0	190,000	98,000	180,000	130,000	
旅費交通費支出	103,000	700,000	20,000	120,000	50,000	
研修研究費支出	454,000	1,870,000	250,000	440,000	200,000	3,214,000
事務消耗品費支出	409,000	3,330,000	800,000	4,049,000	1,300,000	9,888,000
印刷製本費支出	454,000	100,000	20,000	10,000	5,000	
水道光熱費支出	252,000	0	0	0	0	
修繕費支出	5,000	100,000	500,000	1,000,000	1,500,000	
通信運搬費支出	625,000	700,000	770,000	411,000	660,000	
会議費支出	30,000	30,000	10,000	140,000	100,000	
広報費支出	7,932,000	260,000	203,000	200,000	135,000	
業務委託費支出	1,193,000	7,000,000	2,282,000	1,500,000	2,600,000	14,575,000
手数料支出	507,000	1,160,000	2,100,000	2,166,000	1,500,000	
保険料支出	409,000	0	0	0	0	
賃借料支出	195,000	0	0	0	0	
土地・建物賃借料支出	0	0	3,840,000	5,025,000	0	
租税公課支出	601,000	40,000	0	0	110,000	
諸会費	0	0	0	0	0	
渉外費	0	0	0	0	0	
保守料支出	43,000	1,300,000	1,363,000	304,000	1,310,000	
雑支出	755,000	603,000	500,000	1,813,000	500,000	
支払利息支出(s)	0	45,000	631,000	0	199,880	875,880
支払利息支出	0	45,000	631,000	0	199,880	
その他の支出(t)	0	0	3,502,000	2,862,000	2,880,000	9,244,000
利用者等外給食費支出	0	0	3,502,000	2,862,000	2,880,000	9,244,000
雑支出	0	0	0	0	0	
<b>經常支出計(5)=(p+q+r+s+t)</b>	<b>33,535,000</b>	<b>122,322,000</b>	<b>227,567,000</b>	<b>225,055,000</b>	<b>228,539,880</b>	<b>837,018,880</b>

事業活動による支出

(単位:円)

勘定科目	拠点区分						法人全体
	法人本部	母子生活支援施設 バタニヤホーム	菊川保育園	富士見保育園	こひつじ保育園		
設備資金借入金元金償還支出(u)	0	4,968,000	5,520,000	0	2,630,000	13,118,000	
設備資金借入金元金償還支出	0	4,968,000	5,520,000	0	2,630,000		
固定資産取得支出(v)	0	500,000	1,000,000	401,010,000	500,000	403,010,000	
建物取得支出	0	0	0	0	0		
構築物取得支出	0	0	0	12,000,000	0	12,000,000	
その他固定資産支出	0	0	0	0	0		
車両運搬具取得支出	0	0	0	0	0		
器具及び備品取得支出	0	500,000	1,000,000	8,850,000	500,000	10,850,000	
ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	0		
建設仮勘定取得支出	0	0	0	380,160,000	0	380,160,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0	0		
固定資産除却・廃棄支出(w)	0	0	0	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0		
<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>0</b>	<b>5,468,000</b>	<b>6,520,000</b>	<b>401,010,000</b>	<b>3,130,000</b>	<b>416,128,000</b>	
積立資産支出(x)	155,000	800,000	2,010,000	2,021,000	1,889,000	6,875,000	
退職給付引当資産支出	155,000	800,000	2,010,000	2,021,000	1,889,000	6,875,000	
長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	0		
積立資産支出	0	0	0	0	0		
(職員共済会積立資産支出)	0	0	0	0	0		
(林基金積立資産支出)	0	0	0	0	0		
(人件費積立資産支出)	0	0	0	0	0		
(施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	0		
(保育所施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	0	0	
事業区分間繰入金支出(y)	0	0	0	0	0	0	
事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0		
拠点区分間繰入金支出(z)	0	5,850,000	5,850,000	5,850,000	5,850,000	23,400,000	
拠点区分間繰入金支出	0	5,850,000	5,850,000	5,850,000	5,850,000		
サービス区分間繰入金支出(aa)	0	50,000	0	0	0	50,000	
サービス区分間繰入金支出	0	50,000	0	0	0		
その他の活動による支出(ab)	0	0	0	0	0	0	
長期前払費用支出	0	0	0	0	0	0	
差入保証金預り金支出	0	0	0	0	0	0	
<b>財務支出計(7)=(x+y+z+aa+ab)</b>	<b>155,000</b>	<b>6,700,000</b>	<b>7,860,000</b>	<b>7,871,000</b>	<b>7,739,000</b>	<b>30,325,000</b>	
予備費(8)	195,000	500,000	3,788,908	1,856,000	7,138,040	13,477,948	
<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>33,885,000</b>	<b>134,990,000</b>	<b>245,735,908</b>	<b>635,792,000</b>	<b>246,546,920</b>	<b>1,296,949,828</b>	
<b>当期資金収支差額(10)=(4)-(9)</b>	<b>▲ 3,600,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>▲ 20,979,727</b>	<b>0</b>	<b>▲ 24,579,727</b>	
前期末支払資金残高(11)	44,050,415	38,989,529	42,690,041	58,134,879	29,958,129	213,822,993	
<b>当期末支払資金残高(12)=(10)+(11)</b>	<b>40,450,415</b>	<b>38,989,529</b>	<b>42,690,041</b>	<b>37,155,152</b>	<b>29,958,129</b>	<b>189,243,266</b>	

令和5年度法人本部拠点区分資金収支予算

(単位:円)

	大 中	勘定科目		本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	当初予算 比較増減(△)	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
		勘定科目	勘定科目					
事業活動による収入	1	児童福祉事業収入		0	0	0	0	
	2	措置費収入		0	0	0	0	
		その他の事業収入		0	0	0	0	
	3	保育事業収入		0	0	0	0	
	4	保育所運営費収入		0	0	0	0	
		その他の事業収入		0	0	0	0	
	5	駐車場収入		0	0	0	0	
		借入金利息補助金収入		0	0	0	0	
	6	借入金利息補助金収入		0	0	0	0	
	7	経常経費寄附金収入	280,000	280,000	0	240,000	40,000	
		経常経費寄附金収入	280,000	280,000	0	240,000	40,000	
8	受取利息配当金収入	5,000	5,000	0	13,000	△ 8,000		
	受取利息配当金収入	5,000	5,000	0	13,000	△ 8,000		
9	その他の収入	100,000	100,000	0	100,000	0		
	受入研修費収入	0	0	0	0	0		
10	利用者等外給食費収入	0	0	0	0	0		
11	雑収入	100,000	100,000	0	100,000	0		
	<b>事業活動収入計(1)</b>	<b>385,000</b>	<b>385,000</b>	<b>0</b>	<b>353,000</b>	<b>32,000</b>		
	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0		
12	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0		
13	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	0		
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	0		
14	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0		
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0		
15	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0		
	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	0		
16	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0		
	設備資金借入金収入	0	0	0	0	0		
17	固定資産売却収入	0	0	0	0	0		
	固定資産売却収入	0	0	0	0	0		
18	建物売却収入	0	0	0	0	0		
	建物売却収入	0	0	0	0	0		
	<b>施設整備等収入計(2)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

	勘定科目		本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	当初予算 比較増減(△)	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
	大	中					
その他の活動による収入	19	積立資産取崩収入	6,500,000	0	830,000	5,670,000	
	20	退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	
	21	長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	
		積立資産取崩収入 (林基金積立資産取崩収入)	6,500,000	0	830,000	5,670,000	100周年記念行事のための取り崩し
	22	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	
	23	拠点区分間繰入金収入	23,400,000	0	21,400,000	2,000,000	
		拠点区分間繰入金収入	23,400,000	0	21,400,000	2,000,000	100周年記念行事のため各拠点50万円の増額
	24	その他の活動による収入	0	0	0	0	
		長期前払費用収入	0	0	0	0	
<b>財務活動による収入計(3)</b>			<b>29,900,000</b>	<b>0</b>	<b>22,230,000</b>	<b>7,670,000</b>	
<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>			<b>30,285,000</b>	<b>0</b>	<b>22,583,000</b>	<b>7,702,000</b>	
人件費支出			19,467,000	0	17,663,000	1,804,000	
1		役員報酬支出	2,500,000	0	2,500,000	0	
2		職員俸給支出	10,570,000	0	9,380,000	1,190,000	理事会・評議員会・各種委員会報酬 調整手当の増、通勤手当の増
3		職員賞与支出	3,756,000	0	3,616,000	140,000	
4		非常勤職員給与支出	0	0	0	0	
5		派遣職員費支出	0	0	0	0	
6		退職給付支出	267,000	0	267,000	0	
7		法定福利費支出	2,374,000	0	1,900,000	474,000	算出額の補正による増額
事業費支出			0	0	0	0	
8		給食費支出	0	0	0	0	
9		保健衛生費支出	0	0	0	0	
10		保育材料費支出	0	0	0	0	
11		消耗器具備品費支出	0	0	0	0	
12		保険料支出	0	0	0	0	
13		賃借料支出	0	0	0	0	
14		車輛費支出	0	0	0	0	
15		教育指導費支出	0	0	0	0	
16		教養娯楽費支出	0	0	0	0	
17		雑支出	0	0	0	0	
事業活動による支出							



大 中	勘定科目		本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	当初予算 比較増減(△)	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
	事務費支出	福利厚生費支出					
18	事務費支出	福利厚生費支出	14,068,000	0	6,079,000	7,989,000	
19		職員被服費支出	101,000	0	761,000	△ 660,000	職員共済会の移管による
20		旅費交通費支出	103,000	0	148,000	△ 45,000	
21		研修研究費支出	454,000	0	254,000	200,000	100周年記念講演、組織マネジメント研修など新規
22		事務消耗品費支出	409,000	0	270,000	139,000	100周年記念事業経費の増額
23		印刷製本費支出	454,000	0	67,000	387,000	100周年記念事業経費の増額
24		水道光熱費支出	252,000	0	216,000	36,000	
25		修繕費支出	5,000	0	5,000	0	
26		通信運搬費支出	625,000	0	528,000	97,000	100周年記念事業経費の増額、携帯電話利用料新規
27		会議費支出	30,000	0	22,000	8,000	
28		広報費支出	7,932,000	0	226,000	7,706,000	100周年記念事業経費の増額(デジタル記念誌等制作)
29		業務委託費支出	1,193,000	0	1,166,000	27,000	
30		手配料支出	507,000	0	502,000	5,000	
31		保険料支出	409,000	0	445,000	△ 36,000	
32		賃借料支出	195,000	0	584,000	△ 389,000	MAN90契約終了(リース料)による減額
33		土地・建物賃借料支出	0	0	0	0	
34		租税公課支出	601,000	0	601,000	0	
35		渉外費支出	0	0	0	0	
36		諸会費支出	43,000	0	43,000	0	
37		保守料支出	755,000	0	241,000	514,000	100周年記念事業経費の増額(バス借上げ、記念品他)
38		支払利息支出	0	0	0	0	
39		その他の支出	0	0	0	0	
		利用者等外給食費支出	0	0	0	0	
		雑支出	0	0	0	0	
		<b>経常支出計(5)</b>	<b>33,535,000</b>	<b>0</b>	<b>23,742,000</b>	<b>9,793,000</b>	
40		設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	
41		設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	
42		固定資産取得支出	0	0	0	0	
43		建物取得支出	0	0	0	0	
44		構築物取得支出	0	0	0	0	
45		車両運搬具取得支出	0	0	0	0	
46		器具及び備品取得支出	0	0	0	0	
		ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	
		固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	
		<b>施設整備等による支出計(6)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

大	中	勘定科目	本年度	前年度	前年度	前年度	当初予算 比較増減(△)	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
			当初予算額	最終予算額	当初予算額	当初予算額		
そ の 他 の 活 動 に よ る 支 出	47 48 49 50 51 52	積立資産支出	155,000	0	0	150,000	5,000	
		退職給付引当資産支出	155,000	0	0	150,000	5,000	
		長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	0	
		積立資産支出(職員共済会)	0	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	
		その他の活動による支出	0	0	0	0	0	
		長期前払費用支出	0	0	0	0	0	
		財務支出計(7)	155,000	0	0	150,000	5,000	
		予備費(8)	195,000	0	0	191,000	4,000	
支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)	33,885,000	0	0	24,083,000	9,802,000			
当期資金収支差額(10)=(4)-(9)	△ 3,600,000	0	0	△ 1,500,000	△ 2,100,000			
前期未支払資金残高(11)	44,050,415	0	0	45,201,705				
当期未支払資金残高(12)=(10)+(11)	40,450,415	0	0	43,701,705				

令和5年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算

大	中	勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	母子生活支援施設ベタニヤホーム	当初予算 比較増減(△)額	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	当初予算 比較増減(△)額	精算内訳、予算計上理由(新増・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
		児童福祉事業収入(a)	134,340,000	0	121,840,000	0	12,500,000	0	0	0	0	
	1	措置費収入	95,200,000	0	95,200,000	0	0	0	0	0	0	
		(事務費収入)	93,000,000	0	93,000,000	0	0	0	0	0	0	
		(事業費収入)	2,200,000	0	2,200,000	0	0	0	0	0	0	
		その他の事業収入	39,140,000	0	26,640,000	0	12,500,000	0	0	0	0	
		(補助金事業収入(公費))	34,140,000	0	26,640,000	0	7,500,000	0	0	0	0	
		(補助金収入)	26,540,000	0	19,040,000	0	7,500,000	0	0	0	0	(増)体制強化事業、自立支援担当職員
		<都サービス推進費補助金収入>	7,600,000	0	7,600,000	0	0	0	0	0	0	
		(補助金事業収入(一般))	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0	0	0	
		(休眠預金等助成金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		<その他の補助金収入>	5,000,000	0	0	0	5,000,000	0	0	0	0	助成金採択を想定
		(学託事業収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(その他の事業収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		医費事業収入(b)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		保育所運営費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他の事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(補助金事業収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(補助金収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		<都サービス推進費補助金収入>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(利用料収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(学託事業収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(その他の事業収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		駐車場収入(c)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		借入金利息補助金収入(d)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		借入金利息補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		6   借入金利息補助金収入	220,000	0	220,000	0	0	0	0	0	0	
		経常経費寄附金収入(e)	220,000	0	220,000	0	0	0	0	0	0	
		7   経常経費寄附金収入	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	0	
		受取利息配当金収入(f)	30,000	0	30,000	0	0	0	0	0	0	
		8   受取利息配当金収入	350,000	0	350,000	0	0	0	0	0	0	
		その他の収入(g)	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	0	
		9   受入研修費収入	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	
		利用者等外給食費収入	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	
		雑収入	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	
		11   (雑収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(共済会退職金収入)	134,940,000	0	122,440,000	0	12,500,000	0	0	0	0	
		経常収入計(1)=(a+b+c+d+e+f+g)	0	0	122,440,000	0	12,500,000	0	0	0	0	
		施設整備等補助金収入(h)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		12   施設整備等補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		13   設備資金借入金償還補助金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		施設整備等寄附金収入(i)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		14   施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		15   設備資金借入金償還寄附金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		設備資金借入金収入(j)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		16   設備資金借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		固定資産売却収入(k)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		17   車輦運搬具売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		18   器具及び備品売却収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

大	中	勘定科目	本年度	前年度	前年度	前年度	本年度	前年度	前年度	前年度	前年度	前年度	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・縮小・廃止など)の説明
			当初予算額	最終予算額	母子生活支援施設	ペタニヤホーム	比較増減(△)額	当初予算額	最終予算額	アウトリーチ・ハンダー	比較増減(△)額	当初予算	
		積立資産取崩収入(イ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		19 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		20 長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		積立資産取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(職員共済会積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(林基金積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(人件費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(施設整備等積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(施設整備費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(保育所施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金収入(m)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		22 事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金収入(n)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		23 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		サービズ区分間繰入金収入(o)	0	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000	0	0	
		24 サービス区分間繰入金収入	0	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000	0	0	
		その他の活動による収入(o)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		25 長期私費収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		財務活動による収入計(3)=(+m+n+o)	0	0	0	0	50,000	50,000	0	50,000	0	0	
		収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)	134,940,000	122,440,000	0	122,440,000	12,500,000	12,500,000	0	12,500,000	0	0	
		人件費支出(p)	96,300,000	86,960,000	0	86,960,000	9,340,000	9,340,000	0	9,340,000	0	0	
		1 役員報酬支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		職員俸給支出	60,000,000	53,760,000	0	53,760,000	6,240,000	6,240,000	0	6,240,000	0	0	(増)職員増、定期昇給
		(基本給)	42,520,000	41,330,000	0	41,330,000	1,190,000	1,190,000	0	1,190,000	0	0	
		(特殊勤務手当)	1,500,000	1,000,000	0	1,000,000	500,000	500,000	0	500,000	0	0	
		(超過勤務手当)	840,000	840,000	0	840,000	0	0	0	0	0	0	
		(通勤手当)	2,300,000	2,100,000	0	2,100,000	200,000	200,000	0	200,000	0	0	
		(宿直手当)	2,200,000	2,200,000	0	2,200,000	0	0	0	0	0	0	
		(役職手当)	2,040,000	1,840,000	0	1,840,000	200,000	200,000	0	200,000	0	0	
		(職務手当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(子ども手当)	300,000	400,000	0	400,000	▲100,000	▲100,000	0	▲100,000	0	0	(減)対象外
		(住宅手当)	800,000	350,000	0	350,000	450,000	450,000	0	450,000	0	0	
		(母子処遇改善費)	6,000,000	2,700,000	0	2,700,000	3,300,000	3,300,000	0	3,300,000	0	0	(増)社会的養護処遇改善
		(保育士処遇改善費)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		(抱乳手当)	1,500,000	1,000,000	0	1,000,000	500,000	500,000	0	500,000	0	0	(増)
		職員賞与支出	19,000,000	16,000,000	0	16,000,000	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	0	0	(増)職員増
		非常勤職員給与支出	4,700,000	4,700,000	0	4,700,000	0	0	0	0	0	0	
		退職給付支出	600,000	500,000	0	500,000	100,000	100,000	0	100,000	0	0	(増)職員増
		(退職給付支出)	600,000	500,000	0	500,000	100,000	100,000	0	100,000	0	0	
		(退職金)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		7 法定福利費支出	12,000,000	12,000,000	0	12,000,000	0	0	0	0	0	0	
		事業費支出(g)	7,674,000	7,644,000	0	7,644,000	30,000	30,000	0	30,000	0	0	
		8 給食費支出	84,000	144,000	0	144,000	▲60,000	▲60,000	0	▲60,000	0	0	(増)抗原検査
		9 保健衛生費支出	650,000	400,000	0	400,000	250,000	250,000	0	250,000	0	0	
		10 保育材料費支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		11 日用品費支出	150,000	500,000	0	500,000	▲350,000	▲350,000	0	▲350,000	0	0	(増)備蓄食入普済み
		12 水道光熱費支出	3,900,000	3,000,000	0	3,000,000	900,000	900,000	0	900,000	0	0	(増)3割増を想定
		13 消耗器具備品費支出	300,000	300,000	0	300,000	0	0	0	0	0	0	
		14 保険料支出	450,000	450,000	0	450,000	0	0	0	0	0	0	
		15 賃借料支出	120,000	200,000	0	200,000	▲80,000	▲80,000	0	▲80,000	0	0	
		16 車輦費支出	100,000	100,000	0	100,000	0	0	0	0	0	0	
		17 教育指導費支出	1,120,000	1,400,000	0	1,400,000	▲280,000	▲280,000	0	▲280,000	0	0	(減)支援内容(年間行事)を戻直し
		18 教養娯楽費支出	750,000	1,100,000	0	1,100,000	▲350,000	▲350,000	0	▲350,000	0	0	(減)支援内容(年間行事)を戻直し
		19 雑支出	50,000	50,000	0	50,000	0	0	0	0	0	0	

大	中	勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額 母子生活支援施設ベターホーム	前年度 当初予算額 比較増減(△)額	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額 アウトリーチ・チャイルドリー	前年度 当初予算額 比較増減(△)額	当初予算 比較増減(△)額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
		事務費支出(r)	18,253,000	14,673,000	3,580,000	50,000	0	50,000	0	
		20 福利厚生費支出	920,000	940,000	▲20,000	0	0	0	0	(減)麻疹風疹ワクチン
		21 職員被服費支出	190,000	120,000	70,000	0	0	0	0	
		22 旅費交通費支出	700,000	800,000	▲100,000	0	0	0	0	(減)オンライン会議を想定
		23 研修研究費支出	1,870,000	1,550,000	320,000	0	0	0	0	(増)資格取得費用
		24 事務消耗品費支出	3,280,000	1,020,000	2,260,000	50,000	0	50,000	0	助成金採択を想定
		25 印刷製本費支出	100,000	80,000	20,000	0	0	0	0	(増)高騰を想定
		26 修繕費支出	100,000	100,000	0	0	0	0	0	
		27 通信運搬費支出	700,000	450,000	250,000	0	0	0	0	(増)スマホ増
		28 会議費支出	30,000	100,000	▲70,000	0	0	0	0	
		29 広報費支出	260,000	220,000	40,000	0	0	0	0	
		30 業務委託費支出	7,000,000	6,600,000	400,000	0	0	0	0	(増)高圧洗浄
		31 手数料支出	1,160,000	1,260,000	▲100,000	0	0	0	0	
		32 土地・建物賃借料支出	0	0	0	0	0	0	0	
		33 相模公課支出	40,000	33,000	7,000	0	0	0	0	
		34 保守料支出	1,300,000	1,100,000	200,000	0	0	0	0	
		35 雑支出	603,000	300,000	303,000	0	0	0	0	
		支払利息支出(s)	45,000	45,000	0	0	0	0	0	
		その他の支出(t)	0	0	0	0	0	0	0	
		37 利用者等外給食費支出	0	0	0	0	0	0	0	
		38 雑支出	0	0	0	0	0	0	0	
		<b>経常支出計(5)=(r+q+r+s+t)</b>	<b>122,272,000</b>	<b>109,322,000</b>	<b>12,950,000</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	
		設備資金借入金元金償還支出(u)	4,968,000	4,968,000	0	0	0	0	0	
		39 設備資金借入金元金償還支出	4,968,000	4,968,000	0	0	0	0	0	
		固定資産取得支出(v)	500,000	1,700,000	▲1,200,000	0	0	0	0	
		40 建物取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
		41 その他固定資産支出	0	0	0	0	0	0	0	
		42 車輦運搬費取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
		43 器具及び備品取得支出	500,000	1,700,000	▲1,200,000	0	0	0	0	(減)PC
		44 ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
		45 建設仮勘定取得支出	0	0	0	0	0	0	0	
		46 ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0	0	0	0	0	
		固定資産除却・廃棄支出(w)	0	0	0	0	0	0	0	
		47 固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	0	0	0	
		<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>5,468,000</b>	<b>6,668,000</b>	<b>▲1,200,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		積立資産支出(x)	800,000	800,000	0	0	0	0	0	
		48 退職給付引当資産支出	800,000	800,000	0	0	0	0	0	
		49 長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	
		積立資産支出	0	0	0	0	0	0	0	
		(職員共済会積立資金支出)	0	0	0	0	0	0	0	
		(林基金積立資産支出)	0	0	0	0	0	0	0	
		(人件費積立資産支出)	0	0	0	0	0	0	0	
		(施設整備等積立資産支出)	0	0	0	0	0	0	0	
		(保健所施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金支出(y)	0	0	0	0	0	0	0	
		51 事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出(z)	5,850,000	5,350,000	500,000	0	0	0	0	
		52 拠点区分間繰入金支出	5,850,000	5,350,000	500,000	0	0	0	0	(増)100周年記念行事
		サービスクラス区分間繰入金支出(aa)	50,000	50,000	0	0	0	0	0	
		52 サービスクラス区分間繰入金支出	50,000	50,000	0	0	0	0	0	
		<b>その他の活動による支出(ab)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		53 差入保証金預り金支出	0	0	0	0	0	0	0	
		<b>財務支出計(7)=(x)+(y)+(z)+(aa)+(ab)</b>	<b>6,700,000</b>	<b>6,200,000</b>	<b>▲700,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		<b>予備費(8)</b>	<b>500,000</b>	<b>250,000</b>	<b>250,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>134,940,000</b>	<b>122,440,000</b>	<b>12,500,000</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	<b>50,000</b>	<b>0</b>	
		<b>当期収支差額(10)=(4)-(9)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		<b>前期末支払資金残高(11)</b>	<b>38,989,529</b>	<b>38,429,721</b>	<b>559,808</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
		<b>当期末支払資金残高(10)+(11)</b>	<b>38,989,529</b>	<b>38,429,721</b>	<b>559,808</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

令和5年度菊川保育園拠点区分資金収支予算

(単位:円)

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
大 中					
児童福祉事業収入(a)	0	0	0	0	
1 措置費収入	0	0	0	0	
2 その他の事業収入	0	0	0	0	
保育事業収入(b)	239,612,000	0	244,182,000	△ 4,570,000	
3 委託費収入	138,789,000	0	132,752,000	6,037,000	
利用者等利用料収入	160,000	0	160,000	0	
4 (利用者等利用料収入(一般))	160,000	0	160,000	0	
その他の事業収入	100,663,000	0	111,270,000	△ 10,607,000	
(補助金事業収入)	100,231,000	0	110,820,000	△ 10,589,000	
5 <補助金収入>	78,657,000	0	88,974,000	△ 10,317,000	
6 <保育サービスマン推進事業補助金収入>	9,660,000	0	10,026,000	△ 366,000	
7 <保育士等キャリアアップ補助金収入>	11,914,000	0	11,820,000	94,000	
(補助金事業収入(一般))	432,000	0	450,000	△ 18,000	
(利用料収入)	432,000	0	450,000	△ 18,000	
(その他の補助金収入)	0	0	0	0	
9 (受託事業収入)	0	0	0	0	
10 (その他の事業収入)	0	0	0	0	
(その他の事業収入)	0	0	0	0	
11 <その他の事業収入>	0	0	0	0	
12 <その他の事業収入(拠点区分取引)>	0	0	0	0	
駐車場収入(c)	0	0	0	0	
13 駐車場収入	0	0	0	0	
借入金利息補助金収入(d)	498,978	0	558,558	△ 59,580	
14 借入金利息補助金収入	498,978	0	558,558	△ 59,580	
経常経費寄附金収入(e)	10,000	0	25,000	△ 15,000	
15 経常経費寄附金収入	10,000	0	25,000	△ 15,000	
受取利息配当金収入(f)	5,000	0	25,000	△ 20,000	
16 受取利息配当金収入	5,000	0	25,000	△ 20,000	
その他の収入(g)	5,434,000	0	6,082,000	△ 648,000	
17 受入研修費収入	60,000	0	84,000	△ 24,000	
18 利用者等外給食費収入	3,502,000	0	3,618,000	△ 116,000	
雑収入	1,872,000	0	2,380,000	△ 508,000	
19 (雑収入)	1,872,000	0	2,380,000	△ 508,000	
20 (共済会退職金収入)	0	0	0	0	
<b>経常収入計(1)=(a+b+c+d+e+f+g)</b>	<b>245,559,978</b>	<b>0</b>	<b>250,872,558</b>	<b>△ 5,312,580</b>	
施設整備等補助金収入(h)	0	0	0	0	
21 施設整備等補助金収入	0	0	0	0	
22 設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	
施設整備等寄附金収入(i)	0	0	0	0	
23 施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	
24 設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	
設備資金借入金収入(j)	0	0	0	0	
25 設備資金借入金収入	0	0	0	0	
固定資産売却収入(k)	0	0	0	0	
26 車両運搬具売却収入	0	0	0	0	
27 器具及び備品売却収入	0	0	0	0	
<b>施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

	勘定科目 大 中	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
	積立資産取崩収入(1)	0	0	0	0	
28	退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	
29	長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	
30	積立資産取崩収入	0	0	0	0	
	(職員共済会積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
	(林基金積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
	(人件費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
	(施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
	(保育所施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金収入(m)	0	0	0	0	
31	事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	
	拠点区分間繰入金収入(n)	0	0	0	0	
32	拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	
	その他の活動による収入(o)	175,930	0	0	175,930	
33	長期前払費用収入	175,930	0	0	175,930	
	<b>財務活動による収入計(3)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>175,930</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>175,930</b>	
	<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>245,735,908</b>	<b>0</b>	<b>250,872,558</b>	<b>△ 5,136,650</b>	

勘定科目 大 中	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
人件費支出(p)	185,346,000	0	187,669,000	△ 2,323,000	
役員報酬支出	97,868,000	0	102,247,000	△ 4,379,000	
職員俸給支出	79,659,000	0	84,455,000	△ 4,796,000	
(基本給)	1,457,000	0	1,457,000	0	
(特殊勤務手当)	680,000	0	1,080,000	△ 400,000	
(超過勤務手当)	1,693,000	0	2,149,000	△ 456,000	
(通勤手当)	0	0	0	0	
(役職手当)	1,440,000	0	1,440,000	0	
(職務手当)	720,000	0	720,000	0	
(子ども手当)	576,000	0	288,000	288,000	
(住宅手当)	125,000	0	243,000	△ 118,000	
(保育士処遇改善費)	10,198,000	0	9,095,000	1,103,000	
(キャリアアップ分)	1,320,000	0	1,320,000	0	
職員賞与支出	31,786,000	0	34,072,000	△ 2,286,000	
非常勤職員給与支出	30,218,000	0	25,781,000	4,437,000	
派遣職員費支出	0	0	0	0	
退職給付支出	1,602,000	0	1,513,000	89,000	
(退職給付支出)	1,602,000	0	1,513,000	89,000	
(退職金)	0	0	0	0	
法定福利費支出	23,872,000	0	24,056,000	△ 184,000	
事業費支出(q)	24,697,000	0	23,166,000	1,531,000	
給食費支出	11,100,000	0	11,036,000	64,000	
保健衛生費支出	500,000	0	450,000	50,000	
保育材料費支出	2,000,000	0	2,500,000	△ 500,000	
水道光熱費支出	6,144,000	0	5,100,000	1,044,000	
消耗器具備品費支出	1,680,000	0	1,200,000	480,000	
保険料支出	473,000	0	452,000	21,000	
賃借料支出	2,650,000	0	2,228,000	422,000	
車輦費支出	0	0	0	0	
教育指導費支出	0	0	0	0	
教養娯楽費支出	0	0	0	0	
雑支出	0	0	0	0	
事務費支出(r)	150,000	0	200,000	△ 50,000	
福利厚生費支出	13,391,000	0	19,515,000	△ 6,124,000	
職員被服費支出	635,000	0	578,000	57,000	
旅費交通費支出	98,000	0	58,000	40,000	
研修研究費支出	20,000	0	30,000	△ 10,000	
事務消耗品費支出	250,000	0	250,000	0	
印刷製本費支出	800,000	0	700,000	100,000	
修繕費支出	20,000	0	20,000	0	
通信運搬費支出	500,000	0	2,500,000	△ 2,000,000	
会議費支出	10,000	0	770,000	△ 760,000	
広報費支出	203,000	0	15,000	△ 188,000	
業務委託費支出	2,282,000	0	200,000	3,000	
手数料支出	2,100,000	0	2,030,000	252,000	
土地・建物賃借料支出	3,840,000	0	4,205,000	△ 2,105,000	
租税公課支出	0	0	6,240,000	△ 2,400,000	
保守料支出	1,363,000	0	130,000	△ 1,300,000	
雑支出	500,000	0	1,289,000	74,000	
	0	0	500,000	0	

事業活動による支出



事業活動による支出	勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・縮小・廃止など)の説明
46	支払利息支出(s)	631,000	0	716,560	△ 85,560	
	支払利息支出	631,000	0	716,560	△ 85,560	
	その他の支出(t)	3,502,000	0	3,618,000	△ 116,000	
	利用者等外給食費支出	3,502,000	0	3,618,000	△ 116,000	
47	雑支出	0	0	0	0	
	48	0	0	0	0	
施設整備等による支出	<b>経常支出計(5)=(p+q+r+s+t)</b>	<b>227,567,000</b>	<b>0</b>	<b>234,684,560</b>	<b>△ 7,117,560</b>	
	設備資金借入金元金償還支出(u)	5,520,000	0	5,520,000	0	
	設備資金借入金元金償還支出	5,520,000	0	5,520,000	0	
	固定資産取得支出(v)	1,000,000	0	1,000,000	0	
	建築物取得支出	0	0	0	0	
	構築物取得支出	0	0	0	0	
	車両運搬具取得支出	0	0	0	0	
	器具及び備品取得支出	1,000,000	0	1,000,000	0	
	ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	
	固定資産売却・廃棄支出(w)	0	0	0	0	
	固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	
	49	<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>6,520,000</b>	<b>0</b>	<b>6,520,000</b>	<b>0</b>
その他の活動による支出	積立資産支出(x)	2,010,000	0	1,966,000	44,000	
	退職給付引当資産支出	2,010,000	0	1,966,000	44,000	
	長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	
	周年行事等積立金	0	0	0	0	
	(職員共済会積立資産支出)	0	0	0	0	
	(林基金積立資産支出)	0	0	0	0	
	(人件費積立資産支出)	0	0	0	0	
	(施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
	(保育所施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金支出(y)	0	0	0	0	
	事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	
	50	拠点区分間繰入金支出(z)	5,850,000	0	5,350,000	500,000
60	拠点区分間繰入金支出	5,850,000	0	5,350,000	500,000	
	その他の活動による支出(aa)	0	0	466,000	△ 466,000	
61	長期前払費用支出	0	0	466,000	△ 466,000	
	<b>財務支出計(7)=(x+y+z+aa)</b>	<b>7,860,000</b>	<b>0</b>	<b>7,782,000</b>	<b>78,000</b>	
予備費(8)		<b>3,788,908</b>	<b>0</b>	<b>1,885,998</b>	<b>1,902,910</b>	
	<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>245,735,908</b>	<b>0</b>	<b>250,872,558</b>	<b>△ 5,136,650</b>	
当期資金収支差額(10)=(4)-(9)		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
前期未支払資金残高(11)		<b>42,690,041</b>	<b>0</b>	<b>42,608,521</b>		
当期末未支払資金残高(12)=(10)+(11)		<b>42,690,041</b>	<b>0</b>	<b>42,608,521</b>		

令和5年度富士見保育園拠点区分資金収支予算(案)

(単位:円)

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
大 中					
1 児童福祉事業収入(a)	0	0	0	0	
2 措置費収入	0	0	0	0	
3 その他の事業収入	0	0	0	0	
4 保育事業収入(b)	228,539,000	0	221,505,000	7,034,000	単価改定による増
5 委託費収入	136,275,000	0	127,541,000	8,734,000	
6 利用者等利用料収入	0	0	0	0	
7 (利用者等利用料収入(一般))	0	0	0	0	
8 その他の事業収入	92,264,000	0	93,964,000	△ 1,700,000	
9 (補助金事業収入)	91,965,000	0	93,693,000	△ 1,728,000	
10 (補助金収入)	75,543,000	0	77,739,000	△ 2,196,000	内訳(区加算・給食材料費・宿舍増上げ・保育体制強化)、処遇改善臨時特例減
11 (保育サービズ推進事業補助金収入)	5,664,000	0	5,196,000	468,000	
12 (保育士等キャリアアップ補助金収入)	10,758,000	0	10,758,000	0	
13 (補助金事業収入(一般))	299,000	0	271,000	28,000	
14 (利用料収入)	299,000	0	271,000	28,000	延長保育増
15 (その他の補助金収入)	0	0	0	0	
16 (受託事業収入)	0	0	0	0	
17 (その他の事業収入)	0	0	0	0	
18 (その他の事業収入)	0	0	0	0	
19 (その他の事業収入)	0	0	0	0	
20 (その他の事業収入(拠点区分取引))	0	0	0	0	
事業活動による収入	0	0	0	0	
1 駐車場収入	0	0	0	0	
2 借入金利息補助金収入(d)	0	0	0	0	
3 借入金利息補助金収入	0	0	0	0	
4 経常経費寄附金収入(e)	143,000	0	173,000	△ 30,000	
5 経常経費寄附金収入	143,000	0	173,000	△ 30,000	
6 受取利息配当金収入(f)	6,000	0	6,000	0	
7 受取利息配当金収入	6,000	0	6,000	0	
8 その他の収入(g)	4,044,000	0	3,702,000	342,000	
9 受入研修費収入	58,000	0	36,000	22,000	実習生(5名予定)
10 利用者等外給食費収入	2,862,000	0	3,144,000	△ 282,000	月額変更9,200→8,400
11 雑収入	1,124,000	0	522,000	602,000	
12 (雑収入)	1,124,000	0	522,000	602,000	宿舍増上げ対象者の家賃増
13 (共済会退職金収入)	0	0	0	0	
<b>経常収入計(1) = (a+b+c+d+e+f+g)</b>	<b>232,732,000</b>	<b>0</b>	<b>225,386,000</b>	<b>7,346,000</b>	

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
大中					
施設整備等補助金収入(h)	155,576,000	0	127,289,000	28,287,000	
施設整備等補助金収入	155,576,000	0	127,289,000	28,287,000	
21 設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	
22 施設整備等寄附金収入(i)	0	0	0	0	
23 施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	
24 設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	
設備資金借入金収入(i)	109,900,000	0	0	109,900,000	
25 設備資金借入金収入	109,900,000	0	0	109,900,000	
固定資産売却収入(k)	0	0	0	0	
26 車輦運搬具売却収入	0	0	0	0	
27 器具及び備品売却収入	0	0	0	0	
<b>施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)</b>	<b>265,476,000</b>	<b>0</b>	<b>127,289,000</b>	<b>138,187,000</b>	
積立資産取崩収入(l)	116,555,000	0	159,415,000	△ 42,860,000	
28 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	
29 長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	
30 積立資産取崩収入	116,555,000	0	159,415,000	△ 42,860,000	
(職員共済会積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(備品等購入積立資産取崩収入)	2,700,000	0	0	2,700,000	
(人件費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(施設整備費積立資産取崩収入)	20,200,000	0	0	20,200,000	
(保育所施設整備積立資産取崩収入)	93,655,000	0	159,415,000	△ 65,760,000	
事業区分間繰入金収入(m)	0	0	0	0	
31 事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入(n)	0	0	0	0	
32 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	
その他の活動による収入(o)	49,273	0	0	49,273	
33 長期前払費用収入	49,273	0	0	49,273	
<b>財務活動による収入計(3)=(l+m+n+o)</b>	<b>116,604,273</b>	<b>0</b>	<b>159,415,000</b>	<b>△ 42,810,727</b>	
<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>614,812,273</b>	<b>0</b>	<b>512,090,000</b>	<b>102,722,273</b>	

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
大 中					
1 人件費支出(p)	185,719,000	0	177,890,000	7,829,000	
1 役員報酬支出	0	0	0	0	
2 職員俸給支出	115,059,000	0	109,173,000	5,886,000	育休職員1名復帰
3 (基本給)	86,721,000	0	83,253,000	3,468,000	
4 (特殊勤務手当)	1,539,000	0	1,486,000	53,000	
5 (超過勤務手当)	870,000	0	752,000	118,000	
6 (通勤手当)	2,528,000	0	2,422,000	106,000	
7 (宿直手当)	0	0	0	0	
8 (役職手当)	1,440,000	0	1,440,000	0	
9 (職務手当)	720,000	0	720,000	0	
10 (子ども手当)	720,000	0	432,000	288,000	
11 (住宅手当)	457,000	0	554,000	△ 97,000	
12 (保育士処遇改善費)	15,678,000	0	13,590,000	2,088,000	
13 (キャリアアップ分)	4,386,000	0	4,524,000	△ 138,000	
14 職員費与支出	35,051,000	0	31,369,000	3,682,000	育休職員1名復帰
15 非常勤職員給与支出	10,911,000	0	12,900,000	△ 1,989,000	約2名分減
16 派遣職員費支出	0	0	0	0	
17 退職給付支出	1,335,000	0	1,246,000	89,000	
(退職給付支出)	1,335,000	0	1,246,000	89,000	2名分増
(退職金)	0	0	0	0	
18 法定福利費支出	23,363,000	0	23,202,000	161,000	育休職員1名復帰
事業費支出(g)	18,380,000	0	16,262,000	2,118,000	
19 給食費支出	8,100,000	0	7,500,000	600,000	物価高騰のため増
20 保健衛生費支出	800,000	0	800,000	0	
21 保育材料費支出	2,810,000	0	2,856,000	△ 46,000	
22 水道光熱費支出	3,850,000	0	2,700,000	1,150,000	光熱費高騰のため増
23 消耗器具備品費支出	1,300,000	0	1,000,000	300,000	※備品等購入積入金取崩・園児用椅子・机等 500,000
24 保険料支出	306,000	0	306,000	0	
25 賃借料支出	854,000	0	800,000	54,000	新園舎AEDレンタル料等増
26 車輦費支出	0	0	0	0	
27 教養指導費支出	0	0	0	0	
28 教養娯楽費支出	0	0	0	0	
29 雑支出	360,000	0	300,000	60,000	花代高騰のため増

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
大 中					
事務費支出(r)	18,094,000	0	14,827,000	3,267,000	
30 福利厚生費支出	736,000	0	553,000	183,000	ストレスチェック・労災上乗せ保険分増
31 職員被服費支出	180,000	0	180,000	0	
32 旅費交通費支出	120,000	0	120,000	0	
33 研修研究費支出	440,000	0	338,000	102,000	職員研修増
34 事務消耗品費支出	4,049,000	0	1,400,000	2,649,000	物産品購. ※備品等購入積立金取崩. 電話機. 業務設備設置. 門扉カード. 外灯. 机. ロック一等 2,200,000
35 印刷製本費支出	10,000	0	10,000	0	
36 修繕費支出	1,000,000	0	2,200,000	△ 1,200,000	急な故障等に備えた予算のみ
37 通信運搬費支出	411,000	0	330,000	81,000	書類運搬. 建て替え関係お知らせ送料分の増
38 会議費支出	140,000	0	100,000	40,000	建替え本委員会会議費分の増
39 広報費支出	200,000	0	200,000	0	
40 業務委託費支出	1,500,000	0	1,307,000	193,000	処遇改善事務等委託費増
41 手数料支出	2,166,000	0	2,220,000	△ 54,000	第三者評価・ルミ一初期費用減. 引越しに係る費用増
42 土地・建物賃借料支出	5,025,000	0	3,234,000	1,791,000	宿舍増上げ対象者の家賃増
43 租税公課支出	0	0	0	0	
44 保守料支出	304,000	0	435,000	△ 131,000	砂場保守・ウイルスセキュリティ減
45 雑支出	1,813,000	0	2,200,000	△ 387,000	保育サービズ返還金分の減. 発達相談. 建替え本委員会謝礼分増
46 支払利息支出	0	0	0	0	
その他の支出(t)	0	0	0	0	
47 利用者等外給食費支出	2,862,000	0	3,144,000	△ 282,000	
48 雑支出	2,862,000	0	3,144,000	△ 282,000	月額変更9,200→8,400
<b>経常支出計(5)=(p+q+r+s+t)</b>	<b>225,055,000</b>	<b>0</b>	<b>212,123,000</b>	<b>12,932,000</b>	
49 設備資金借入金元金償還支出(u)	0	0	0	0	
設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0	
50 固定資産取得支出(v)	401,010,000	0	287,704,000	113,306,000	
建物取得支出	0	0	0	0	
51 構築物取得支出	12,000,000	0	0	12,000,000	※施設整備費積立金. 倉庫3棟 12,000,000
52 車両運搬具取得支出	0	0	0	0	
53 器具及び備品取得支出	8,850,000	0	1,000,000	7,850,000	POI台. その他備品. ※施設整備費積立金. 市ルダリング. 日除ホヤ. 検査設備. 防犯カメラ. 門扉セキュリティ. インターホン. 等8,200,000
54 ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	
建設仮勘定取得支出	380,160,000	0	286,704,000	93,456,000	
固定資産除却・廃棄支出(w)	0	0	0	0	
固定資産除却・廃棄支出	0	0	0	0	
<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>401,010,000</b>	<b>0</b>	<b>287,704,000</b>	<b>113,306,000</b>	

勘定科目 大 中	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由(新規・拡充・ 縮小・廃止など)の説明
積立資産支出(x)	2,021,000	0	4,484,000	△ 2,463,000	
56 退職給付引当資産支出	2,021,000	0	1,984,000	37,000	2名分増
57 長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	
58 積立資産支出	0	0	2,500,000	△ 2,500,000	
その他の活動による支出	0	0	0	0	
(職員共済会積立資産支出)	0	0	0	0	
(林基金積立資産支出)	0	0	0	0	
(人件費積立資産支出)	0	0	0	0	
(施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
(保育所施設整備積立資産支出)	0	0	2,500,000	△ 2,500,000	
事業区分間繰入金支出(y)	0	0	0	0	
59 事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	
拠点区分間繰入金支出(z)	5,850,000	0	5,350,000	500,000	
60 拠点区分間繰入金支出	5,850,000	0	5,350,000	500,000	
その他の活動による支出(aa)	0	0	49,273	△ 49,273	
61 長期前払費用支出	0	0	49,273	△ 49,273	
<b>財務支出計(7)=(x+y+z+aa)</b>	<b>7,871,000</b>	<b>0</b>	<b>9,883,273</b>	<b>△ 2,012,273</b>	
<b>予備費(8)</b>	<b>1,856,000</b>	<b>0</b>	<b>2,379,727</b>	<b>△ 523,727</b>	
<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>635,792,000</b>	<b>0</b>	<b>512,090,000</b>	<b>123,702,000</b>	
<b>当期資金収支差額(10)=(4)-(9)</b>	<b>▲ 20,979,727</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 20,979,727</b>	
<b>前期未支払資金残高(11)</b>	<b>58,134,879</b>	<b>0</b>	<b>34,477,403</b>		
<b>当期未支払資金残高(12)=(10)+(11)</b>	<b>37,155,152</b>	<b>0</b>	<b>34,477,403</b>		

令和5年度こひつじ保育園拠点区分資金収支予算

勘定科目		本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	構内訳、予算計上理由の説明 (新規・拡充・縮小・廃止など)
<b>大 中</b>						
1	児童福祉事業収入(a)	0	0	0	0	
2	措置費収入	0	0	0	0	
	その他の事業収入	0	0	0	0	
3	保育事業収入(b)	243,424,600	0	214,486,000	28,938,600	
	委託費収入	119,500,000	0	117,760,000	1,740,000	令和4年12月分を基礎とする(定員100名)
	利用者等利用料収入	0	0	0	0	
	(利用者等利用料収入(一般))	0	0	0	0	
	その他の事業収入	123,924,600	0	96,726,000	27,198,600	
	(補助金事業収入)	121,880,600	0	95,014,000	26,866,600	
5	<補助金収入>	104,031,600	0	76,370,000	27,661,600	障害児加算6名で試算
6	<保育サービス推進事業補助金収入>	8,067,000	0	8,862,000	△ 795,000	令和5年度申請金額
7	<保育士等キャリアアップ補助金収入>	9,782,000	0	9,782,000	0	令和5年度申請金額
	(補助金事業収入(一般))	2,044,000	0	1,712,000	332,000	
8	<利用料収入>	2,044,000	0	1,712,000	332,000	一時利用延べ480人
9	<その他の補助金収入>	0	0	0	0	
10	(受託事業収入)	0	0	0	0	
	(その他の事業収入)	0	0	0	0	
11	<その他の事業収入>	0	0	0	0	
12	<その他の事業収入(拠点区分取引)>	0	0	0	0	
13	駐車場収入(c)	0	0	0	0	
	駐車場収入	0	0	0	0	
14	借入金利息補助金収入(d)	119,320	0	149,150	△ 29,830	
	借入金利息補助金収入	119,320	0	149,150	△ 29,830	令和4年度決定額
15	経常経費寄附金収入(e)	50,000	0	50,000	0	
	経常経費寄附金収入	50,000	0	50,000	0	
16	受取利息配当金収入(f)	13,000	0	13,000	0	
	受取利息配当金収入	13,000	0	13,000	0	
17	その他の収入(g)	2,940,000	0	3,270,000	△ 330,000	
	受入研修費収入	60,000	0	60,000	0	
	利用者等外給食費収入	2,880,000	0	3,210,000	△ 330,000	
18	雑収入	0	0	0	0	
19	(雑収入)	0	0	0	0	
20	(共済会退職金収入)	0	0	0	0	常勤職員 1名 退職予定
<b>経常収入計(1)=(a+b+c+d+e+f+g)</b>		<b>246,546,920</b>	<b>0</b>	<b>217,968,150</b>	<b>28,578,770</b>	
21	施設整備等補助金収入(h)	0	0	0	0	
22	施設整備等補助金収入	0	0	0	0	
	設備資金借入金元金償還補助金収入	0	0	0	0	
23	施設整備等寄附金収入(i)	0	0	0	0	
	施設整備等寄附金収入	0	0	0	0	
24	設備資金借入金元金償還寄附金収入	0	0	0	0	
	設備資金借入金収入(j)	0	0	0	0	
25	設備資金借入金収入	0	0	0	0	
	固定資産売却収入(k)	0	0	0	0	
26	車輛運搬具売却収入	0	0	0	0	
27	器具及び備品売却収入	0	0	0	0	
<b>施設整備等収入計(2)=(h+i+j+k)</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

勘定科目	本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由の説明 (新規・拡充・縮小・廃止など)
大 中					
28 積立資産取崩収入(1)	0	0	0	0	
29 退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	0	
30 長期預り金積立資産取崩収入	0	0	0	0	
積立資産取崩収入	0	0	0	0	
(職員共済会積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(林基金積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(人件費積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
(保管所施設整備積立資産取崩収入)	0	0	0	0	
事業区分間繰入金収入(m)	0	0	0	0	
31 事業区分間繰入金収入	0	0	0	0	
拠点区分間繰入金収入(n)	0	0	0	0	
32 拠点区分間繰入金収入	0	0	0	0	
その他の活動による収入(o)	0	0	0	0	
33 長期前払費用収入	0	0	0	0	
<b>財務活動による収入計(3)=(1+m+n+o)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計額(4)=(1)+(2)+(3)</b>	<b>246,546,920</b>	<b>0</b>	<b>217,968,150</b>	<b>28,578,770</b>	



勘定科目	本年度		前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	精算内訳、予算計上理由の説明 (新規・拡充・縮小・廃止など)
	当初予算額	実績				
大 中	187,271,000	170,533,500	0	16,737,500	9月1日より産休予定1名・6時間の固定勤務希望者1名あり	
人件費支出(n)	0	0	0	0		
1 役員報酬支出	107,625,000	100,618,000	0	7,007,000		
2 職員俸給支出	87,344,000	80,663,000	0	6,681,000		
3 (基本給)	1,551,000	1,573,000	0	△ 22,000		
4 (特殊勤務手当)	900,000	500,000	0	400,000		
5 (超過勤務手当)	2,330,000	2,760,000	0	△ 430,000		
6 (通勤手当)	0	0	0	0		
7 (役職手当)	1,440,000	1,440,000	0	0		
8 (職務手当)	1,080,000	1,080,000	0	0		
9 (子ども手当)	432,000	360,000	0	72,000		
10 (住宅手当)	1,097,000	913,000	0	184,000		
11 (保育士処遇改善費)	10,011,000	9,889,000	0	122,000		
12 (キャリアアップ分)	1,440,000	1,440,000	0	0		
13 職員賞与支出	38,400,000	32,303,000	0	6,097,000		
14 非常勤職員給与支出	15,000,000	14,500,000	0	500,000		
15 派遣職員費支出	0	0	0	0		
16 退職給付支出	1,246,000	1,112,500	0	133,500		
(退職給付支出)	1,246,000	1,112,500	0	133,500	福祉医療機構掛金 28名分@44,500円	
17 (退職金)	0	0	0	0		
18 法定福利費支出	25,000,000	22,000,000	0	3,000,000	職員俸給額の15%相当	
事業費支出(o)	27,419,000	24,204,000	0	3,215,000		
給食費支出	11,000,000	11,000,000	0	0		
19 保健衛生費支出	500,000	600,000	0	△ 100,000		
20 保育材料費支出	5,000,000	2,500,000	0	2,500,000	コット導入	
21 水道光熱費支出	6,200,000	5,000,000	0	1,200,000		
22 消耗器具備品費支出	2,500,000	2,500,000	0	0		
23 保険料支出	359,000	354,000	0	5,000		
24 賃借料支出	1,560,000	1,950,000	0	△ 390,000		
25 車輦費支出	0	0	0	0		
26 教育指導費支出	0	0	0	0		
27 教養娯楽費支出	0	0	0	0		
28 雑支出	300,000	300,000	0	0		
29 事務費支出(p)	10,770,000	10,590,000	0	180,000		
福利厚生費支出	670,000	600,000	0	70,000	10月からプロウィルス検査を実施	
30 職員被服費支出	130,000	100,000	0	30,000		
31 旅費交通費支出	50,000	30,000	0	20,000		
32 研修研究費支出	200,000	200,000	0	0		
33 事務消耗品費支出	1,300,000	1,900,000	0	△ 600,000	ICT化タブレット購入	
34 印刷製本費支出	5,000	5,000	0	0		
35 修繕費支出	1,500,000	1,500,000	0	0		
36 通信運搬費支出	660,000	960,000	0	△ 300,000	屋上安全対策 コトモン運営費追加	
37 会議費支出	100,000	150,000	0	△ 50,000		
38 広報費支出	135,000	135,000	0	0		
39 業務委託費支出	2,600,000	1,900,000	0	700,000		
40 手数料支出	1,500,000	1,300,000	0	200,000		
41 土地・建物賃借料支出	0	0	0	0		
42 租税公課支出	110,000	110,000	0	0		
43 保守料支出	1,310,000	1,300,000	0	10,000		
44 雑支出	500,000	400,000	0	100,000		
45						

事業活動による支出

事業活動 支出による	勘定科目		本年度 当初予算額	前年度 最終予算額	前年度 当初予算額	差額	積算内訳、予算計上理由の説明 (新規・拡充・縮小・廃止など)
	大	中					
46		支払利息支出(s)	199,880	0	249,850	△ 49,970	
		支払利息支出	199,880	0	249,850	△ 49,970	
		その他の支出(t)	2,880,000	0	3,210,000	△ 330,000	
		利用者等外給食費支出 雑支出	2,880,000	0	3,210,000	△ 330,000	
47		<b>経常支出計(5)=(p+q+r+s+t)</b>	<b>228,539,880</b>	<b>0</b>	<b>208,787,350</b>	<b>19,752,530</b>	
		設備資金借入金元金償還支出(u)	2,630,000	0	2,630,000	0	
49		設備資金借入金元金償還支出	2,630,000	0	2,630,000	0	
		固定資産取得支出(v)	500,000	0	500,000	0	
		建物取得支出	0	0	0	0	
		構築物取得支出	0	0	0	0	
		車両運搬具取得支出	0	0	0	0	
		器具及び備品取得支出	500,000	0	500,000	0	
		ソフトウェア取得支出	0	0	0	0	
		固定資産売却・廃棄支出(w)	0	0	0	0	
		固定資産売却・廃棄支出	0	0	0	0	
		<b>施設整備等による支出計(6)=(u+v+w)</b>	<b>3,130,000</b>	<b>0</b>	<b>3,130,000</b>	<b>0</b>	
56		積立資産支出(x)	1,889,000	0	1,889,000	0	
		退職給付引当資産支出	1,889,000	0	1,889,000	0	
		長期預り金積立資産支出	0	0	0	0	
		周年行事等積立金積立資産支出	0	0	0	0	
		(職員共済会積立資産支出)	0	0	0	0	
		(林基金積立資産支出)	0	0	0	0	
		(人件費積立資産支出)	0	0	0	0	
		(施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
		(施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
		(保育所施設整備積立資産支出)	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金支出(y)	0	0	0	0	
		事業区分間繰入金支出	0	0	0	0	
		拠点区分間繰入金支出(z)	5,850,000	0	5,350,000	500,000	
		拠点区分間繰入金支出	5,850,000	0	5,350,000	500,000	
		その他の活動による支出(aa)	0	0	0	0	
61		長期前払費用支出	0	0	0	0	
		<b>財務支出計(7)=(x+y+z+aa)</b>	<b>7,739,000</b>	<b>0</b>	<b>7,239,000</b>	<b>500,000</b>	
予備費(8)		<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>7,138,040</b>	<b>0</b>	<b>500,000</b>	<b>6,638,040</b>	
		<b>支出合計額(9)=(5)+(6)+(7)+(8)</b>	<b>246,546,920</b>	<b>0</b>	<b>219,656,350</b>	<b>26,890,570</b>	
		<b>当期資金収支差額(10)=(4)-(9)</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>▲ 1,688,200</b>	<b>1,688,200</b>	
		<b>前期末支払資金残高(11)</b>	<b>29,958,129</b>	<b>0</b>	<b>32,940,047</b>		
		<b>前期末支払資金残高(12)=(10)+(11)</b>	<b>29,958,129</b>	<b>0</b>	<b>31,251,847</b>		



令和5年3月

社会福祉法人ベタニヤホーム

東京都墨田区江東橋5-4-1

03-3631-0444